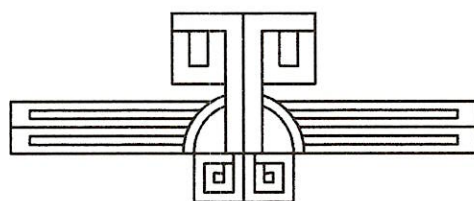


光記念館年報

第2号

平成12・13年度

2002.3



光記念館
Hikaru Memorial Museum

目 次

ご挨拶	3
光記念館の理念	4
I、施設概要	5
館内ご案内図	6
沿革	7
II、平成 12 年、13 年度事業概要	9
A. 展示	9
[1] 常設展	9
(1) 古代からのメッセージ	9
(2) 飛騨展示室	10
(3) 人類史展示室	19
(4) 美術展示室	24
(5) 映像展示	26
[2] 特別展	28
企画展示室	28
B. 教育普及活動	45
[1] 講演会	45
[2] ボランティア活動	48
[3] 展示解説	48
[4] 広報・宣伝活動	49
[5] 資料貸出	52
III、平成 14 年度事業計画	55

ご挨拶

この度、光記念館第2号年報(2000年・2001年)を刊行させていただきました。

当館は、平成11年4月8日開館より満3年を迎え、お陰様を持ちまして、平成14年3月には、博物館法による「登録博物館」の認可をいただきました。これもひとえに岐阜県教育委員会はじめ関係機関皆様のご指導の賜物でございます。茲に厚くお礼申し上げます。

これまで、当館の展示事業では、葛飾北斎展、池田満寿夫展、ロベール・ドアノー展、光悦・仁清・乾山と伝統の美展、歌川広重展、肉筆浮世絵展等の特別企画展を開催してまいりました。

この他、研究成果の発表（展示・各種刊行物）、館蔵資料の公開（常設展）、教育普及活動（体験学習・講演会）等、様々な事業を他の関係機関と連携・協力し、実施してまいりました。

平成14年度には、小・中学校の週5日制に伴い、積極的に地域の博物館・美術館を活用することを文部科学省も推進されており、当館もまた、多数の小・中学校にご利用いただいております。

さらに一層地域文化の発展・向上・国際交流推進の場としての社会教育施設を目指して参りたいと存じます。

今後とも、皆様より変わらぬご指導・ご協力を賜わりたく、謹んでお願い申し上げます。

平成14年3月31日

光記念館
館長 岡崎 功

光記念館の理念

1、テーマ「光」

地球環境との対話が叫ばれる今日、生命エネルギーの根源である「光」をテーマに博物館活動を行なう。

「光」のテーマは広範囲である。太陽からの光、自然からの光、化石等過去の物質からの光、人工的な過去の文明からの光、また、芸術・美術、人の心からの光など。こうした人類に向けて放たれる光を多方面にわたり

- ① 資料収集・保管
- ② 調査研究
- ③ 資料・収蔵品の紹介・展示
- ④ 教育普及活動

することにより、人類・社会の精神的・物質的な向上を目指すものとする。

来館者が、長い年月、地球や人類が育んできた歴史をたどり、自然と人類が残した優れた美・芸術・文化に触れることにより、今後の生き方、未来へ歩む方向性を創造、示唆する活動を展開して行く。

2、飛騨地域は、特有（古生代から新生代）の地層・地質・岩石・化石等を保有しており、また、そこに住む人の歴史と伝統文化を紹介することにより、地域に融和した文化環境の向上を目指す施設とする。

地元、飛騨地域（高山市を含む）を中心に、岐阜県及び中部地区に貢献できる社会教育施設として、博物館活動を展開して行く。

3、公共施設として、老若男女を問わず、子供から大人まで気軽に来館いただける総合博物館として、特に、今後の未来を担う青少年の教育・知育に役立つ施設として、広く一般に利用していただくことを目的とする。

4、世界古代文明の展示や優れた芸術品を紹介することにより、国際交流の推進並びに地域社会の国際化にも貢献する。

そのため積極的に国際的な企画展を実施して行く。

I、施設概要

《建築概要》

所在地	岐阜県高山市中山町175
地区・地域	第2種住居地域 教育文化地区
工 期	着工：平成 5年6月23日 竣工：平成10年2月27日 開館：平成11年4月 8日
敷地面積	75,753.75㎡ (22,915坪)
建築面積	14,097.00㎡ (4,264坪)
建ぺい率	19.78% ≤ 48.17% (地区計画)
延床面積	32,668.81㎡ (9,882坪)
容 積 率	45.84% ≤ 76.34% (地区計画)

《施設の規模》

駐車台数	来館者用	乗用車	105台
		バス	27台
	職員用	乗用車	66台
美術館棟			
見学ゾーン面積	1階	3,750.62㎡	(1,135坪)
	地下1階	2,812.12㎡	(851坪)
	地下2階	7,013.97㎡	(2,122坪)
	合 計	13,576.71㎡	(4,107坪)
能舞台	1舞台		
小ホール	108席		
収蔵庫面積	1,534.62㎡	(464坪)	
図書室	30席		
レストラン「ビラコチャ」	104席		
和風レストラン「日玉の里」	90席	(団体予約専用)	
立礼席	32席		

美術館棟の外形	101m×86m
外部ピラミッドの高さ（中央床面より）	20.7m
内部ピラミッドホールの天井高	21.7m
（地下2階フロアより）	
可変床面積	1,353㎡ (409坪)

館内ご案内図

古代からのメッセージ



小ホール
Theater



授乳室
Baby Care Room

1F



和食堂 日玉の里
Japanese Restaurant Hidamanosato

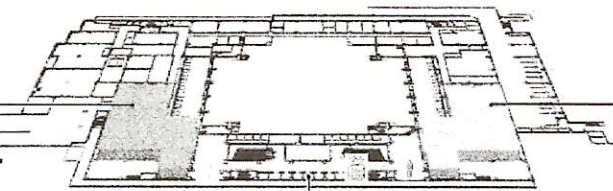


飛騨展示室
Hida Hall



屋外展示場
Outdoor Exhibition Area

B1F



人類史展示室
World History Hall

ビデオライブラリ
Video Library



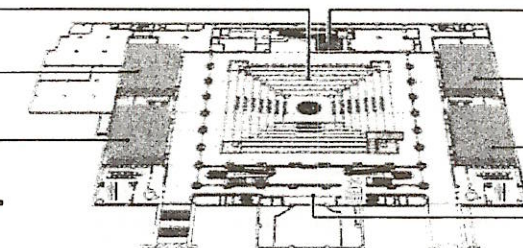
ピラミッドホール
Pyramid Hall



第3美術展示室
Art Gallery#3

企画展示室
Special Exhibits Hall

B2F



能舞台
Noh Stage

第2美術展示室
Art Gallery#2

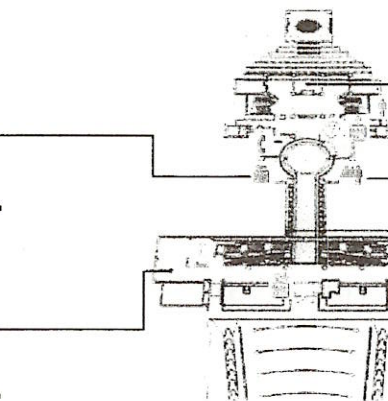
第1美術展示室
Art Gallery#1

図書閲覧コーナー
Library



コインロッカー(無料)
Baggage Locker

B3F



ガイドンスコーナー
Information

チケット売場
Ticket Office



ミュージアムショップ
Museum Shop

B1F

レストランビラコチャ
Restaurant Viracochas

沿革

平成 11 年度

期日	行事	摘要
4 月 8 日	光記念館開館	
	開館記念特別企画展開催 (～ 6/27)	『近代彫刻のあけぼの ロダン、ブールデル展』
7 月 6 日	特別企画展開催 (～ 12/26)	『生活の中の美 北大路魯山人展』
7 月 6 日	美術展示室常設展	テーマ『夏』
8 月 8 日	特別講演会	東京大学名誉教授 神奈川県生命の星博物館館長 濱田隆士先生
8 月 22 日	特別講演会	青森県三内丸山遺跡対策室主幹 岡田康博先生
9 月 19 日	美術講座 I 開催	当館学芸員
9 月 19 日	美術展示室常設展	テーマ『秋』
1 月 4 日	特別企画展開催 (～ 6/25)	『富嶽三十六景 北斎芸術への誘い展』
1 月 4 日	美術展示室常設展	テーマ『冬』
1 月 18 日	報道関係者内覧会	

平成 12 年度

期日	行事	摘要
7 月 4 日	特別企画展開催 (～ 12/3)	『池田満寿夫の芸術世界展』
	報道関係者内覧会	
	佐藤陽子女史あいさつ	
	美術展示室常設展	テーマ『夏』
7 月 10 日	特別講演会	東京大学名誉教授 濱田隆士先生
8 月 27 日	特別講演会	ミクロネシア地域研究センター研究員 辻維周先生
9 月 5 日	美術展示室常設展	テーマ『秋』
9 月 15 日	特別講演会	金山町岩屋岩陰遺跡調査員 小林由来先生
10 月 8 日	特別講演会	青森県三内丸山遺跡対策室主幹 岡田康博先生
11 月 3 日	特別講演会	佐藤陽子女史
12 月 12 日	特別企画展開催 (～ 3/4)	『パリの知性 ロベール・ドアノー』展
3 月 10 日	報道関係者内覧会	
3 月 13 日	特別企画展開催 (～ 9/2)	『光悦・仁清・乾山と伝統の美～琳派の祖を偲ぶ～』
3 月 13 日	美術展示室常設展	テーマ『春』

平成 13 年度

期日	行事	摘要
6 月 5 日	美術展示室常設展	テーマ『夏』
	企画展開催	『出雲旧石器展』
7 月 30 日	企画展開催 (～ H14/9/2)	『化石の王様！世界のアンモナイト展』
8 月 7 日	特別講演会	自然史研究所 大花民子先生
8 月 26 日	特別講演会	エジプト・アラブ文化研究会副会長 村治笙子先生
9 月 2 日	企画展終了	『光悦・仁清・乾山と伝統の美～琳派の祖を偲ぶ～』
9 月 4 日	美術展示室常設展	テーマ『秋』
9 月 10 日	特別企画展開催 (～ 12/24)	『歌川広重 東海道五十三次展』
9 月 19 日	岐阜県博物館協会	会場：光記念館
9 月 20 日	第 50 回会員研修会開催	
9 月 30 日	特別講演会	青森県三内丸山遺跡対策室主幹 岡田康博先生
10 月 16 日	マヤの拓本展 (～ H14/5/13)	於 無料見学ゾーン
10 月 17 日	「グアテマラの夕べ」開催	会場：高山市文化会館 後援 光記念館
10 月 18 日	特別講演会	東京大学名誉教授 大貫良夫先生
	グアテマラ大使来館	
10 月 26 日	東海 5 県市長会 (79 市各市長) 来館	
12 月 4 日	美術展示室常設展	テーマ『冬』
1 月 11 日	報道関係者内覧会	
1 月 12 日	特別企画展開催 (～ 3/10)	『浮世絵の魅力～江戸の春に夢見る～』
3 月 16 日	美術展示室常設展	テーマ『春』
	特別企画展開催 (～ 5/12)	『江戸に爛漫 浮世絵の華』
	報道関係者内覧会	

(1). 顕彰記念室（1階）

イ. 展示目的

「世界の悠久平和を確立する」という壮大な構想を発表された岡田光玉師の精神を根幹とし、師の業績を顕彰して広く世界へ知らしめることを目的としている。師の壮絶な人生の足跡や当時の社会情勢、人としての使命、道德観、新たな歴史観等を伝える展示を行っている。

また、師の遺品・業績記録等を保存・保管し、後世に伝承する役割も担っている。

ロ. 展示内容

〈第一展示室〉

岡田光玉師の生涯を紹介している。

明治34年2月27日に誕生し、幼少の頃、父母からの厳しい薫陶を受けて道德心を養った。青年時代は軍人としてエリートの道を歩む。

その後、馬からの転倒事故によって重傷を負い、3年の命と宣告されてからは経済界に身を投じて成功を収める。

しかし終戦間もない昭和20年6月、戦災によって全てを失うが、貧のどん底から立ち上がり、神仏への帰依と感謝のうちに生き、「3年の命」と宣告された身が5年に伸びていたことに気づく。

昭和34年1月借財返済が完了した。その年2月27日最初の神示を受け、余生を世の為、人の為に捧げようと決意し、活動を始められる。

昭和49年6月23日に73歳の生涯を終えられた。

ここでは師の生涯を絵画と年表で紹介し、人生の転機となった神示に関する実物資料等も展示している。

*展示手法

- 神示に関する実物資料…玉石・天杖。
- 崇教真光のシンボル…旗。
- 師の生涯の紹介…絵画・年表・グラフィック。

〈第二展示室〉

立教後の岡田光玉師のご遺品や再現家屋を展示している。

師が生涯を通して実践された心掛けや周囲の人々に対する愛情を資料から窺うことができる。

*展示手法

- 物を尊ぶ…廃品利用の日用品・使い込まれた衣服。

- 治に居て乱を忘れず…非常用品・指輪。
- ご愛情…地方の人に宛てた手紙・贈り物。

〈第三展示室〉

師を偲ぶため神秘的な空間をイメージした展示室を作り、日展審査員も務められた富永直樹先生の美術作品である師の立像を設置した。

岡田光玉師の顕彰を目的とする展示の中でイメージ的な展示を試みている。

＊展示手法

- 美術作品…ブロンズ製のご立像。
- 実物資料…教本・勲章。

〈第四展示室〉

岡田光玉師の理念「地球は元一つ、世界は元一つ、人類は元一つ、万教の元又一つ」を地理・歴史的な角度から検討し、疑問を投げかける展示を試みた。

日本と世界の遺跡・紋様の類似点等をパネルや映像等で紹介し、日本と世界のまだ解明されていない遺跡や遺物も検索形式で紹介している。

＊展示手法

- 実物資料、グラフィック、映像、検索映像。

〈映像小ホール〉

120インチモニターを設置し、椅子は108席設けられている。通常は、岡田光玉師の生涯をアニメーション化したものを上映している。

また、季節ごとに監修の先生方並びに当館学芸員による特別講座を開催し、展示の補足や学習の補助を行なっている。

Ⅱ、平成12年、13年度事業概要

A. 展示

[1] 常設展

(1) 古代からのメッセージ

イ. 展示目的

日本と世界の遺跡・遺物について、地理・歴史的な角度から検討し、疑問を投げかける展示を試みた。

ロ. 展示内容

日本と世界の遺跡・紋様の類似点等をパネルや映像等で紹介し、日本と世界のまだ解明されていない遺跡や遺物も検索形式で紹介している。また、一部を企画展示室として開放し、岐阜県内の遺跡をはじめ、マヤの拓本展等を開催した。

* 展示手法

- 実物資料、グラフィック、映像、検索映像。

〈映像小ホール〉

120インチモニター1台と椅子108席を設置している。

夏季を中心に監修の先生方並びに当館学芸員による特別講座を開催し、展示の補足や学習の補助を行なっている。

(2) 飛驒展示室

イ. 展示目的

現代の人類社会を支える自然が現在の姿になるまで、人類を含む全ての生命が果たしてきた役割と環境の変化を紹介する。

いつの時代においても1つ1つの生命には役割があり、一切無駄無く配置されている。生命と環境の長い歴史と積み重ねを知ることにより、自然をかけがえのないものとして再認識し、慈しむ心を育てる。

ロ. 展示内容

飛驒の実物資料を通して、地球の自然界における普遍真理を捉え、一切無駄無く培われた生命の役割と命の尊さ、環境との関わり等を紹介している。

展示は飛驒産出の化石と考古資料を中心に古生代から現代までの自然史と生命の関わりを提示している。

展示には命と心の大切さを伝えられるよう、復元模型やジオラマに力を入れた。特に植物ジオラマは葉脈に至るまで、化石を元に忠実に復元している。

飛驒は古生代の福地累層、中生代の手取層群、新生代の火砕流堆積層等各年代の地層や岩石が露出していることで有名である。

〈輝く生命の星〉

導入部に宇宙から見た地球を表現し、自然の美しさと思議さを提示しながら視点を飛驒に絞っていく。

* 展示手法

- 地球模型、100インチモニター映像。

〈古生代〉

飛驒にある古生代の地層から、サンゴをはじめとする海の生き物の化石が数多く発見されている。

これらの原始生物は何億年もかけて大量の酸素を放出し、生命の星とよばれる地球の基礎となる、オゾン層や大気等の環境をつくったといわれている。

また、現在の珊瑚礁のように、古生代のサンゴと藻類等も理想的な共生関係を保って繁栄を遂げたことを紹介している。

* 展示手法

- 実物資料…海生動物化石・岩石。
- 復元模型…実物資料を用いて、福地累層・デボン紀岩盤の一部を原寸大に復元した。
- ジオラマ…デボン紀・石炭紀・二畳紀の海の様子を忠実に復元した。
- ミラービジョン、映像。

〈中生代〉

飛騨地域にまたがる中生代の地層「手取層群」は恐竜や植物化石を多く産出することで知られている。海から陸、湖、川、空へと生活環境を広げ、動物と植物が共生しながら繁栄を遂げ、中生代の生活環境をつくったことを伝える。

* 展示手法

- 実物資料…陸上植物化石・海生動物化石等。
- ジオラマ…手取型植物群を原寸大で葉脈に至るまで、精巧に復元した。
- 恐竜模型…手取層群から発見されたスギヤマリュウ・カガリュウの原寸大復元模型。

〈新生代〉

飛騨の山々は、新生代の活発な火山活動とプレートの活動によって形成されたといわれている。大地の巨大なエネルギーを地形の痕跡等から伝える。

また、新生代は人類が出現し、活動を始めた時代でもある。

人類が作った道具を地球史46億年の産物である岩石、粘土、木の素材表現をするという視点で展示し、自然の産物を借用して人類は営み始めたことを伝えている。自然に適応するために道具を作り、自然素材の特性を活かして繁栄を遂げた人類と自然との共生を紹介する。

* 展示手法

- 実物資料…石器、土器、岩石。
- 映像模型…噴火と再生の様子を紹介。

〈大自然の恵み〉

視点を飛騨から世界に広げ、地球的規模で繰り広げられた環境の変遷や生命の果たした役割を振り返り、自然界の偉大さと恩恵を再認識する。

日本は酸性土壌で化石として残りにくいため、ボリビアの三葉虫化石を歴史の証言者として展示している。

* 展示手法

- 実物資料…ボリビアの三葉虫化石。
- 映像…60インチモニターで自然界の恩恵を紹介。

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習をする場とする。

* 学習手法

- Q & A コーナー…タッチパネルモニターで、展示内容を題材にした3択5問のクイズを行えるようにし、展示の復習を促している。
- 体験学習室…多目的スペース。実物資料に触れる、企画展等を計画。

<飛驒展示室グラフィック>

- G-1 天地のみ恵み (大項目)
- G-2 輝くいのちの星 (中項目)
- G-3 太古からのメッセージ
- G-4 古生代 (中項目)
- G-5 地質科学から見た飛驒
- G-6 デボン紀の地層
- G-7 ハチノスサンゴって何?
- G-8 デボン紀のサンゴ (ジオラマ説明図)
- G-9 サンゴに芽が出る! 動物なのに…ほんと!?
- G-10 二酸化炭素が石になった!
- G-11 殻が巻きはじめたオウムガイ
- G-12 サンゴを取り巻く動物たち (ジオラマ説明図)
- G-13 層孔虫って何?
- G-14 石炭紀の地層写真
- G-15 石炭紀 (ジオラマ説明図)
- G-16 翼をいっぱい広げたような姿のスピリファー
- G-17 二畳紀の地層写真
- G-18 二畳紀 (ジオラマ説明図)
- G-19 ウミユリって海のユリ?
- G-20 動物と植物との共生 (イメージ)
- G-21 動物と植物との共生
- G-22 息づくいのちの歴史 (イメージ)
- G-23 息づくいのちの歴史
- G-24 中生代—森と湖の時代— (中項目)
- G-25 新しい環境に適応した生きもの (イメージ)
- G-26 変化する手取層の環境
- G-27 手取層群の広がり
- G-28 飛驒の恐竜たち
- G-29 竜盤目 獣脚亜目 k a g a r y u
- G-30 竜盤目 竜脚亜目 s u g i y a m a r y u
- G-31 水から頭を出しているコケの仲間
- G-32 小さな種が広げた緑
- G-33 暖かく明るい森
- G-34 植物と動物、そして大地 (イメージ)
- G-35 植物たちの水離れがもたらした恵み
- G-36 手取層群の恐竜

- G-37 恐竜時代を彩る植物たち
- G-38 新生代への幕開け（イメージ）
- G-39 普賢岳の火砕流
- G-40 新生代（中項目）
- G-41 活動する大地（イメージ）
- G-42 息づく大地の痕跡
- G-43 よみがえる自然
- G-44 芽吹くということ
- G-45 乗鞍写真
- G-46 自然とともに生きる技（イメージ）
- G-47 技のはじまり～旧石器時代～
- G-48 木と土の恵み～縄文時代～
- G-49 育まれた祈りの心～縄文時代～
- G-50 受け継がれた心と技～弥生・古墳時代～
- G-51 いのちを大切に作る心
- G-52 大自然の恵み（中項目）
- G-53 自然がつくった生命の証～アンデスからのメッセージ～
- G-54 生命の眠る山脈
- G-55 はるか4億年の海
- G-56 アンデス山脈
- G-57 よみがえる三葉虫たち
- G-58 海の中の掃除屋さん
- G-59 三葉虫の宝庫ボリビア～化石採集地とその周辺～
- G-60 無駄のない自然界
- G-61 Q & A コーナー

<飛騨展示室実物資料>

床板サンゴ 合計：8点

分類	学名	産地	点数	備考
床板サンゴ	Squameofavosites cf.	岐阜県上宝村福地	1	
床板サンゴ	Squameopora takarensis	岐阜県上宝村福地	2	
床板サンゴ	Heliolites sp.	岐阜県上宝村福地	1	
床板サンゴ	Pachyfavosites sp.	岐阜県上宝村福地	1	
床板サンゴ	Lamellaeoporella? sp.	岐阜県上宝村福地	1	
床板サンゴ	Favosites sp.	岐阜県上宝村一重ヶ根	1	
床板サンゴ	Thamnopora sp.	福井県和泉村上伊勢	1	

四放サンゴ 合計：10 点

分類	学名	産地	点数	備考
四放サンゴ	<i>Cystiphyllodes</i> sp.	岐阜県上宝村	1	
四放サンゴ	<i>Cystiphyllum</i> sp.	岐阜県上宝村	1	
四放サンゴ	<i>Tipheophyllum</i> sp. indet.	岐阜県上宝村	1	
四放サンゴ	<i>Tipheophyllum</i> sp. indet.A	岐阜県上宝村	1	
四放サンゴ	<i>Tipheophyllum</i> sp. indet.A	福井県和泉村上伊勢	1	
四放サンゴ	<i>Tipheophyllum</i> sp. indet.C	岐阜県上宝村	1	
四放サンゴ	<i>Tipheophyllum</i> sp.	岐阜県上宝村	2	
四放サンゴ	<i>Tryplasma</i> sp.	岐阜県上宝村	1	
四放サンゴ	<i>Zaphrentis?</i> sp.	岐阜県上宝村	1	

デボン紀 合計：15 点

分類	学名	産地	点数	備考
頭足	<i>Fukujiceras</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
頭足	<i>Buchanoceras</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
頭足	<i>Nothoceratid</i> gen. and sp. indet.B	岐阜県上宝村福地	2	
腹足	" <i>Murchisonia</i> " sp.	岐阜県上宝村福地	2	
腹足	<i>Bellerophon</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
ウミユリ	crinoid	岐阜県上宝村福地	2	
ウミユリ	crinoid stems	岐阜県上宝村福地	1	
層孔虫	<i>Clathrodictyon</i> sp.	岐阜県上宝村福地	2	
層孔虫	<i>Clavdictyon</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
三葉虫	<i>Crotalocephalus</i> sp.	岐阜県上宝村福地	2	

石炭紀 合計：15 点

分類	学名	産地	点数	備考
四放サンゴ	<i>Rugosa</i>	岐阜県上宝村福地	1	
四放サンゴ	<i>Kueichouphyllum</i> sp.	福井県和泉村上伊勢	2	
四放サンゴ	<i>Kueichouphyllum</i> sp.	福井県和泉村	1	
四放サンゴ	<i>Kueichouphyllum</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
四放サンゴ	<i>Stylidophyllum</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
腕足	<i>Gigantoproductus</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
腕足	<i>Spirifer</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
コケムシ	<i>Longpora</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
コケムシ	" <i>Fenestella</i> " sp.	岐阜県上宝村福地	1	
有孔虫	<i>Profusulinella</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
ウミユリ	crinoid calyx	岐阜県上宝村福地	2	
ウミユリ	crinoid stems	岐阜県上宝村福地	1	
腹足	<i>Bellerophon</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	

二疊紀 合計：15 点

分類	学名	産地	点数	備考
腹足	<i>Bellerophon</i> sp.	岐阜県丹生川村	1	
腹足	<i>Bellerophon jonesianus</i>	岐阜県赤坂金生山	2	
石灰海綿	<i>Cystauletes</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
腕足	<i>Spiriferella lita</i>	岐阜県丹生川村	1	
腕足	<i>Spirifer</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
コケムシ	<i>Polypora</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
頭足	<i>Phacoceras</i> sp.	岐阜県丹生川村	1	
ウミユリ	crinoid stems	岐阜県丹生川村	1	
ウミユリ	crinoid stems	岐阜県赤坂金生山	1	
ウミユリ	crinoid calyx	岐阜県上宝村福地	1	
有孔虫	<i>Parafusulina</i> sp.	岐阜県丹生川村	2	
有孔虫	<i>Monodiexodina</i> sp.	岐阜県丹生川村	1	
有孔虫	<i>Pseudoschwagerina</i> sp.	岐阜県丹生川村	1	

古生代ケース 合計：24 点

分類	学名	産地	点数	備考
魚類	アミアに近い仲間	岐阜県上宝村福地	1	
魚類	<i>Romundina</i> sp. indet.	岐阜県上宝村福地	1	
魚類	光鱗魚	岐阜県丹生川村	1	
床板サンゴ	<i>Sinoporella</i> ? sp.	岐阜県上宝村一重ヶ根	1	
床板サンゴ	<i>Parastriatopora</i> sp.	岐阜県上宝村一重ヶ根	1	
床板サンゴ	<i>Favosilid</i> jen. and sp. indet.	岐阜県上宝村一重ヶ根	1	
床板サンゴ	<i>Thamnopora</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
床板サンゴ	<i>Lamellaeoporella</i> ? sp.	岐阜県上宝村福地	1	
床板サンゴ	<i>Squameopora takarensis</i>	岐阜県上宝村	1	
床板サンゴ	<i>Yacutiopora</i> sp.	福井県和泉村上伊勢	1	
床板サンゴ	<i>Multithecopora</i> ? sp.	岐阜県丹生川村	1	
四放サンゴ	<i>Aphyllum</i> sp.	岐阜県上宝村一重ヶ根	1	
四放サンゴ	<i>Tipheophyllum</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
四放サンゴ	<i>Cystiphyllum</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
四放サンゴ	<i>Actinocyathus</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
四放サンゴ	<i>Rugosa</i>	岐阜県上宝村福地	1	
層孔虫	<i>Clavidictyon</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
石灰海綿	<i>Cystauletes</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
有孔虫	<i>Profusulinella</i> sp.	岐阜県上宝村福地	1	
有孔虫	<i>Monodiexodina</i> sp.	岐阜県丹生川村	1	
有孔虫	<i>Parafusulina</i> sp.	岐阜県丹生川村	1	

有孔虫	<i>Pseudoschwagerina</i> sp.	岐阜県丹生川村	1	
藻類	藻類	岐阜県丹生川村	1	
藻類	<i>Mizzia</i> sp.	岐阜県赤坂金生山	1	

岩石 合計：6 点

分類	学名	産地	点数	備考
岩石	晶質石灰岩	岐阜県神岡町	1	
岩石	黒鉛入晶質石灰岩	岐阜県神岡町	1	
岩石	角閃石片麻岩	岐阜県神岡町	1	
岩石	角閃岩	岐阜県神岡町	1	
岩石	含柘榴石片麻岩	岐阜県神岡町	1	
岩石	眼球片麻岩	岐阜県神岡町	1	

中生代動物 合計：20 点

分類	学名	産地	点数	備考
頭足	<i>Ammonoidea</i>	岐阜県荘川村	3	
頭足	<i>Belemnites</i> gen. and sp. indet.	岐阜県荘川村	2	
二枚貝	<i>Neomiodon tetoriensis</i>	岐阜県荘川村	3	
二枚貝	<i>Monotis</i> (<i>Entomonotis</i>) <i>ochotica</i>	岐阜県春日村	1	
二枚貝	二枚貝 (シジミ) の仲間	岐阜県荘川村	1	
二枚貝	<i>Modiolus maedae</i>	岐阜県荘川村	1	
二枚貝	<i>Pinna</i> sp. aff. <i>P. sandsfootensis</i>	岐阜県荘川村	2	
二枚貝	<i>Tetorimyia carinata</i>	岐阜県荘川村	1	
二枚貝	<i>Crenotrapezium kobayashii</i>	岐阜県荘川村	1	
二枚貝	<i>Inoceramus maedae</i>	岐阜県荘川村	1	
二枚貝	<i>Inoceramus maedae</i>	岐阜県古川町	1	
二枚貝	<i>Entolium</i> sp.	岐阜県荘川村	1	
二枚貝	<i>Ostreidae</i> gen. and sp. indet.	岐阜県荘川村	2	

中生代植物 合計：14 点

分類	学名	産地	点数	備考
コケ植物	<i>Thallites yabei</i>	岐阜県荘川村	1	
球果	<i>Podozamites</i> sp.	岐阜県荘川村	1	
チェカノフスキア	<i>Czekanovskia rigida</i>	岐阜県荘川村	2	
シダ植物	<i>Cladophlebis</i> (<i>Gleichenites</i> ?) sp.	岐阜県荘川村	1	
シダ植物	<i>Cladophlebis</i> (<i>Gleichenites</i> ?) <i>yamazakii</i>	岐阜県荘川村	1	個人蔵
シダ植物	<i>Cladophlebis</i> sp.	岐阜県荘川村	1	中島公一氏蔵
シダ植物	<i>Onychiopsis elongata</i>	岐阜県荘川村	1	中島公一氏蔵
ベネチテス	<i>Dictyozamites kawasaki</i>	石川県目附谷紅滝	1	

ベネチテス	Dictyozamites imamurae	石川県目附谷紅滝	1	小松市立博物館蔵
ソテツ	Tetoria endoi	石川県目附谷紅滝	2	小松市立博物館蔵
イチョウ	Ginkgoites degitata	石川県目附谷紅滝	1	
ソテツ	Nilssonina nipponensis	石川県目附谷紅滝	1	

新生代 合計：3 点

分類	学名	産地	点数	備考
岩石	安山岩	飛騨地域	1	
岩石	丹生川火砕流堆積物	岐阜県丹生川村山口	1	
岩石	上宝村火砕流堆積物	岐阜県高山市滝町	1	

新生代 考古 合計：96 点

分類	学名	産地	点数	備考
岩石	サヌカイト	奈良県二上山	1	個人蔵
岩石	下呂石	岐阜県下呂町湯ヶ峰	1	個人蔵
岩石	飛騨ヒスイ	岐阜県丹生川村	1	個人蔵
岩石	メノウ	岐阜県国府町	1	個人蔵
岩石	黒曜石	長野県和田峠	1	個人蔵
石器	旧石器	岐阜県下呂町大林遺跡	12	飛騨考古学会蔵
石器	局部磨製石斧	岐阜県荘川村海上初屋野遺跡	2	
石器	石器	飛騨地域	24	
石器	台石・磨石	岐阜県高山市中切上野遺跡	各 1	高山市教育委員会蔵
土器	土器片	岐阜県高山市中切上野遺跡	2	高山市教育委員会蔵
土器	土器片	岐阜県高山市垣内遺跡	12	
土器	埋甕	岐阜県高山市垣内遺跡	1	高山市教育委員会蔵
土偶	土偶	岐阜県高山市垣内遺跡	2	高山市教育委員会蔵
土偶	土偶	岐阜県高山市内	1	
石器	石棒・石剣	飛騨地域	4	
土器	ミニチュア土器	垣内遺跡	1	高山市教育委員会蔵
土器	土器	向畑遺跡	1	高山市教育委員会蔵
土器	土器片	中切上野遺跡	1	高山市教育委員会蔵
土器	土器片	岐阜県高山市山口町	1	高山市教育委員会蔵
土器	須恵器	飛騨地域	1	高山市教育委員会蔵
土器	須恵器	飛騨地域	2	
その他	古代寺院の瓦	岐阜県高山市国分寺跡	3	高山市教育委員会蔵
その他	古代寺院の瓦	岐阜県高山市三仏寺廃寺	2	高山市教育委員会蔵
その他	飛騨の匠の道具		12	高山市教育委員会蔵
その他	飛騨の匠の作品		5	高山市教育委員会蔵

まとめの部 古生代 三葉虫 合計：161 点

分類	学名	産地	点数	備考
三葉虫	<i>Metacryphaeus caffer</i> Reed	ボリビア	37	
三葉虫	<i>Hoekaspis</i> spp.	ボリビア	6	
三葉虫	<i>Metacryphaeus</i> cf. <i>venustus</i>	ボリビア	5	
三葉虫	<i>Metacryphaeus limabambae</i> BRANISA	ボリビア	5	
三葉虫	<i>Metacryphaeus giganteus</i> (ULRICH)	ボリビア	6	
三葉虫	<i>Cryphaeoides rostratus</i> (KOZLOWSKI)	ボリビア	7	
三葉虫	<i>Schzostylus</i> sp.	ボリビア	2	
三葉虫	Calmoniidae	ボリビア	7	
三葉虫	<i>Dipleura dekayi</i> GREEN	ボリビア	9	
三葉虫	<i>Phacops orurensis</i> (BRANISA) Var.	ボリビア	3	
三葉虫	<i>Phacops orurensis</i> (BRANISA) Var.	ボリビア	5	
三葉虫	<i>Phacops orurensis</i> (BRANISA)	ボリビア	14	
三葉虫	<i>Asteropyge unispina</i> BRANISA	ボリビア	9	
三葉虫	<i>Acanthopyge bolliviani</i> (KOZLOWSKI)	ボリビア	4	
三葉虫	<i>Otarion dereimsi</i> (KOZALOWSKI)	ボリビア	2	
三葉虫	<i>Phacopina devonica</i> (ULRICH)	ボリビア	9	
三葉虫	<i>Phacopina</i> aff. <i>devonica</i> (ULRICH)	ボリビア	3	
三葉虫	<i>Acastoides verneulli</i> (D' ORBIGNY)	ボリビア	5	
三葉虫	Proetacea	ボリビア	2	
三葉虫	Dalmanitidae	ボリビア	4	
三葉虫	<i>Francovichia francovichii</i> (BRANISA)	ボリビア	5	
三葉虫	<i>Dereimsia</i> sp.	ボリビア	1	
三葉虫	<i>Bouleia dagincourti</i> (ULRICH)	ボリビア	4	
三葉虫	<i>Andinopyge spinulosa</i> BRANISA	ボリビア	4	
三葉虫	<i>Dalmanitoides</i> sp.	ボリビア	2	
三葉虫	<i>Ditomopyge</i> sp.	ボリビア	1	

(3) 人類史展示室

イ. 展示目的

展示は、人類が共通して持つ普遍の心、『崇める心』をテーマにした。

古来より人類は自然を畏れ尊び、人間の知恵と力の及ばないところに神の世界があると考え、その神秘を崇める心を培ってきた。豊かな文化や現代にまで残る遺産といった古代文明の所産は「崇める心」の象徴であり、現代文明においても人々の心のよりどころとなっている。

また、先人の努力があって我々も今日の生活を営めるのであり、何千年も前から現代にまで通じる文化の共通性・独自性を知ることが、今後の文化・文明を考える上でも重要である。

ダイナミックな造形を生んだ世界各地の文化遺産の展示を通して、21世紀を生きる現代人の視野を広げ、文明を育む原動力となった人類の“心”を問う場を提供している。

ロ. 展示内容

人類史展示室では、世界各地の考古資料を各文明・文化ごとにまとめた展示を行っている。旧石器時代から世界の7大文明と日本の縄文時代について、その全体像と精神性を実物資料、模型、解説パネル、映像、ミラービジョン等によって紹介している。

『崇める心』をテーマに人類の心を探り、その帰結としての諸文明を提示している。

<旧石器時代>

約400万年以上前から世界各地に広がった人類は、厳しい自然環境に適応しつつ豊かな文化を育んでいった。火の使用、石器の加工技術、豊穡や秩序を祈る洞窟壁画等を通して、旧石器時代の人々の『崇める心』を中心に紹介する。

* 展示手法

- 実物資料…旧石器。
- 縮小模型…旧石器時代の洞窟壁画。

<世界の古代文明>

約1万年前頃から、世界各地に文明・文化が興っていった。古代文明展示の導入として大型の地図・年表を配置し、7つの文明と日本の縄文の地理的・時代的な位置関係を一覧できるよう工夫した。

各文明に見られる環境や遺跡・遺物を一堂に見ることで、それぞれの相違点や普遍性を垣間見ることができる。

* 展示手法

- 世界地図に8つの21インチモニターを配置し、各文明の気候風土・代表的な遺跡・遺物を映像で一覧できる。

〈古代文明〉

紀元前3000年頃より栄えた世界的にもよく知られる7つの文明を展示コーナーごとに分けて展示している。

世界各地の古代文明を社会のあり方や建築、実物資料の造形や紋様等、多方面から見つめ、また、比較することでそれぞれの文明を支えた人々の宗教観・死生観を探り、人類の未来を模索する。

* 展示コーナー

- ① メソポタミア文明
- ② ギリシア・地中海文明
- ③ エジプト文明
- ④ インダス文明
- ⑤ 中国文明
- ⑥ メソアメリカ文明
- ⑦ アンデス文明

* 展示手法

- 実物資料…保存状態の良好な副葬品の展示。特に中・南米は当時の人々の精神性を伝える土器や、布製品等の一級資料で充実している。
- グラフィック…大型写真パネル、地図・年表、解説文を全文明統一した手法で配置した。
- 模型資料…当時の人々の精神性を伝える神殿縮小模型・太陽の船縮小模型・遺跡の復元模型・巨木柱等を設置している。また、アンデス文明『太陽の門』の精巧な原寸大の模型は、現地の天野博物館にご協力いただいた資料を元に作成した。

〈縄文〉

縄文時代は近年の発掘・調査・研究により、その生活水準の豊かさが見直され、現在でも新たな発見が相次いでいる。

自然と共に生き、1万年以上もの間続いた縄文時代の全体像を提示し、同時期に栄えた世界の文明と共に展示する。

* 展示手法

- 実物資料…土偶、土器、石製品。
- レプリカ…木製品、土器。

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習する場とする。

* 学習手法

- 古代文字スタンプ…エジプトのヒエログリフとマヤ文字のスタンプを用意し、名前

や来館日等を古代の絵文字で押して、持ち帰られるようにしている。

- 土器の立体パズル…縄文の火炎土器とアンデスの鐘形土器を電磁石で組み立て、資料復元のミニ体験ができるようにしている。
- Q & A コーナー…タッチパネルモニターで、展示内容を題材にした3択5問のクイズを行えるようにし、展示の復習を促している。

<人類史展示室グラフィック>

- G-1 人類の崇める心（大項目）
- G-2 太古の祈り（中項目）
- G-3 躍動感ある動物たち
- G-4 芸術のはじまり
- G-5 旧石器時代の出土品
- G-6 人類最初の道具・ハンドアックス写真
- G-7 世界の古代文明（中項目）
- G-8 諸文明世界地図モニター
- G-9 文明のはじまり（年表）
- G-10 古代文明と崇める心（中項目）
- G-11 メソポタミア文明（地図・年表）
- G-12 ウルのジグラット
- G-13 メソポタミア文明イメージグラフィック
- G-14 礼拝者像
- G-15 神殿中心の社会・楔形文字・絵文字から楔形文字へ・円筒印章・円筒印章の印影と活用
- G-16 ギリシア・地中海文明（地図・年表）
- G-17 ギリシア・地中海文明イメージグラフィック
- G-18 ギリシア陶器
- G-19 海底に沈んだアンフォラ
- G-20 ギリシア神話の神々
- G-21 親しみ深く大いなる神・神の姿
- G-22 パルテノン神殿
- G-23 エジプト文明（地図・年表）
- G-24 エジプト文明イメージグラフィック
- G-25 王墓の壁画「王と神々」
- G-26 太陽と人々・ピラミッド
- G-27 太陽の船
- G-28 ピラミッドとスフィンクス
- G-29 パピルス画「死者の書」

- G-30 来世への扉・古代エジプトの主な神々
- G-31 インダス文明（地図・年表）
- G-32 インダス文明イメージグラフィック
- G-33 計画都市
- G-34 豊饒の神・インダスの交易
- G-35 中国文明イメージグラフィック
- G-36 副葬品の玉
- G-37 先祖神と自然神・副葬された土器・神獣の姿
- G-38 中国文明（地図・年表）
- G-39 ティカル神殿
- G-40 メソアメリカ文明（地図・年表）
- G-41 メソアメリカ文明イメージグラフィック
- G-42 宗教暦と太陽暦
- G-43 人々の宇宙観・聖なる儀式
- G-44 アンデス文明イメージグラフィック
- G-45 アンデスの神殿建設
- G-46 神の力の象徴
- G-47 アンデス文明（地図・年表）
- G-48 甦る縄文世界（中項目）
- G-49 縄文（地図・年表）
- G-50 地質年表表
- G-51 三内丸山遺跡（中期）
- G-52 縄文の主な木製品
- G-53 イメージグラフィック
- G-54 縄文人と森・土に残された心
- G-55 太陽の門
- G-56 古代アンデスと縄文の造形「アンデスの造形」（中項目）
- G-57 ナスカの地上絵
- G-58 アンデス文明の代表的な諸文化
- G-59 アンデス文明年表
- G-60 ライモンディの石碑（イラスト）
- G-61 人物造形イメージグラフィック
- G-62 人物
- G-63 動物造形イメージグラフィック
- G-64 動植物
- G-65 幾何学造形イメージグラフィック
- G-66 幾何学文その他

- G-67 織物
- G-68 古代アンデスと縄文の造形「縄文土器の造形」(中項目)
- G-69 縄文土器シルエット(草創期・早期の造形)
- G-70 隆線文系土器様式・貝殻沈線文系土器様式(草創期・早期土器展開写真)
- G-71 縄文土器シルエット(前期の造形)
- G-72 諸磯式・鳥浜貝塚式(前期土器展開写真)
- G-73 縄文土器シルエット(中期の造形)
- G-74 阿玉台式・馬高式・脇坂第Ⅲ式(中期土器展開写真)
- G-75 縄文土器シルエット(後期の造形)
- G-76 深鉢・注口土器(後期土器展開写真)
- G-77 縄文土器シルエット(晩期の造形)
- G-78 「楽しく学ぼう」コーナーサイン
- G-79 古代文字スタンプ
- G-80 土器の立体パズル
- G-81 Q & A コーナー

(4) 美術展示室

イ. 展示目的

芸術は古来より人の精神性に深く関わり、洗練されてきた。万人に通ずる清明正直な美の世界から、高い感性を培うことを目的としている。

ロ. 展示内容

当館では“清明正直”感の漂う日本画や書等の資料を収集している。第1、第2、第3展示室では、所蔵する日本画・書の常設展示を行い、作品の保護を考慮して年に3～4回展示替えを行っている。

また、第4展示室では年に3～4回企画展を開催している。

〈第1展示室〉

当館所蔵の近・現代の日本画を中心とした常設展示。

200点を越す所蔵品の中より、常時約30点を展示し、季節に合わせて年に3～4回の展示替えを行っている。

* 所蔵作家

宮本武蔵、葛飾北斎、歌川広重、富岡鉄斎、竹内栖鳳、横山大観、菱田春草、
上村松園、鏑木清方、前田青邨、伊東深水、棟方志功、東山魁夷、他

〈第2展示室〉

当館所蔵の近・現代の大型屏風を中心に展示を行っている。季節感を考慮し、年3～4回展示替えを行っている。

* 展示資料

横山大観…「不二霊峰」
加山又造…「夜桜」「龍図」
今井俊満…「夏草図」「紅葉賀」
芹沢銈介…型絵染め「いろは」「春夏秋冬」、他

〈能舞台〉

能は鎌倉時代に神社の境内を舞台に始まり、約700年もの間、守り継がれてきた日本の伝統芸能である。

能の演目内容や装束、能舞台の解説を行い、目に見えない幽玄の世界をも表現する能の、深奥で研ぎ澄まされた芸術性を伝える。

* 展示資料

- 可動式、総檜造りの能舞台。
- 能装束一式…『羽衣』、『猩々』等。

- 60インチモニター映像…『羽衣』の和合の舞、『高砂』の舞囃子。

〈第3展示室〉

当館では、歴史上の著名人（詩人・歌人等）や、近・現代の書家の作品等約200点の書を所蔵しており、その内約30点を常設展示している。

尚、企画展のスペースが足りない場合は第3展示室も企画展示室として流用し、第1・第2展示室にて書を展示することもある。

* 所蔵作家

貫名崧翁、市川米庵、良寛和尚、賀茂真淵、勝海舟、若山牧水、手島右卿、他

〈第4展示室〉

館所蔵資料の他に他館から資料を借用し、芸術世界の先駆者的役割を果たした人物の作品展を主に開催している。

また、420点を越える館所蔵肉筆浮世絵の中から、テーマを決めて企画展を行っている。

(5) 映像展示

地下3階受付を通ったところにガイダンスコーナーを設置し、館の概要を閲覧してから観覧できるようにしている。

ガイダンス映像（約7分）

地下1階には各展示室での展示映像を1個所で閲覧できるビデオライブラリ（7ブース）を設置している。ここでは現行の展示映像のほかに、これまで放映した過去のプログラムをも閲覧でき、じっくりと腰を据えて学習できるようにしている。

ビデオライブラリーリスト／ Video Library List			
No	タイトル Titles	時間 Time	備考 Remarks
111	妙 Wonder	約 5 分 5 minutes	古代からのメッセージ Messages from Ancient Times
112	メガリス Megaliths	約 5 分 5 minutes	
113	宇宙の調和 The Cosmos in Harmony	約 6 分 6 minutes	
211	生命の星誕生 Birth of the Earth	約 1 分 1 minute	飛騨展示室 HIDA HALL
212	不思議な動物サンゴ Coral — A Mysterious Life Form	約 4 分 4 minutes	
213	化石は語る Fossils	約 3 分 3 minutes	
214	大自然の恵み The Grandeur of Nature	約 4 分 4 minutes	
215	高山盆地の形成 Formation of the Takayama Basin	約 2 分 2 minutes	
221	すばらしき化石の世界 The Wonderful World of Fossils	約 8 分 8 minutes	オリジナルプログラム ORIGINAL PROGRAM
222	大いなる大地 Wonders of the Earth	約 8 分 8 minutes	
223	自然界の調和 Harmony in Nature	約 7 分 7 minutes	

311	メソポタミア文明 Mesopotamian Civilization	約 2 分 2 minutes	人類史展示室 WORLD HISTORY HALL
312	ギリシア・地中海文明 Greek/Mediterranean Civilization	約 2 分 2 minutes	
313	エジプト文明 Egyptian Civilization	約 2 分 2 minutes	
314	インダス文明 Indus Civilization	約 2 分 2 minutes	
315	中国文明 Chinese Civilization	約 2 分 2 minutes	
316	メソアメリカ文明 Mesoamerican Civilization	約 2 分 2 minutes	
317	アンデス文明 Andes Civilization	約 2 分 2 minutes	
318	縄文 Jomon Culture	約 2 分 2 minutes	
319	縄文の漆 The Use of Lacquer in the Jomon Period	約 5 分 5 minutes	
320	縄文人の生活と四季 Life in the Jomon Period	約 4 分 4 minutes	
321	ジョウモン博士とヒカリが探る～巨大木柱の謎～ Dr. Jomon and Hikari Talk about the “Large Wooden Pillar”	約 5 分 5 minutes	オリジナルプログラム ORIGINAL PROGRAM
322	旧石器人の心 Humankind in the Old Stone Age	約 8 分 8 minutes	
323	心が描かれた縄文土器 Jomon People and Their Earthenware	約 11 分 11 minutes	
324	神殿～祈りの造形～ Temples — Places of Prayer	約 11 分 11 minutes	美術 ART
411	舞囃子「高砂」“Maibayashi TAKASAGO” A Noh Play (without masks or costumes)	約 16 分 16 minutes	
412	能「羽衣 和合之舞」 HAGOROMO ～ THE FEATHER ROBE ～	約 11 分 11 minutes	オリジナルプログラム ORIGINAL PROGRAM

[2] 特別展

企画展示室

「富嶽三十六景展 ～北斎芸術への誘い～」

会期：平成12年1月4日～6月25日

作品点数49点

《展示目的》

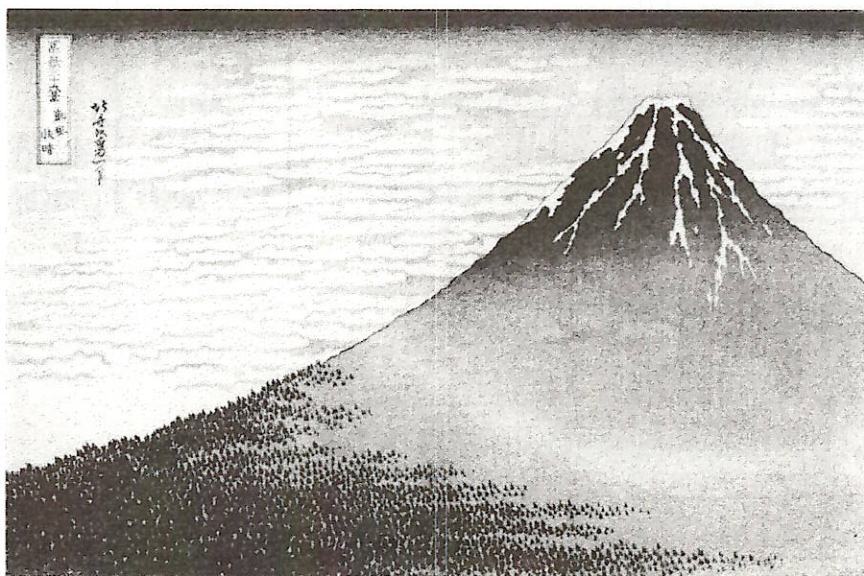
昨年（1999年）は北斎没後150年にあたる年であったため、世界に誇る日本の偉大な芸術家の魂に触れていただきたいとの思いから、北斎の企画展示を開催するに至った。

当館では、浮世絵「富嶽三十六景」（裏富士10枚を併せた46枚）を全て所蔵していることから、これらを一堂に展示した。

《展示内容》

最高傑作といわれる「凱風快晴」俗にいう「赤富士」をはじめ、フランスの音楽家ドビュッシーを刺激して交響詩「海」を作曲（詩）させたといわれる「神奈川冲浪裏」、そして奇抜な構図で知られる「尾州不二見ヶ原」等教科書でも馴染みのある浮世絵を紹介した。北斎は、幾何学的形態を対比・反復させることで画面を構成している。浮世絵の中に盛り込まれている幾何学的形態の数々を展示解説で説明した。

また、浮世絵と併せて北斎の肉筆画「風景四季図（秋）」の展示も行なった。肉筆画によって表現されている繊細で柔らかい色彩感と技術の高さ、肉筆画の重みを併せてご覧いただいた。さらには、同じ浮世絵師として有名な歌川広重の「東海道五十三次」から、同じ題材（土地）を描いている作品二点を比較展示し、構図や表現方法等の違いを見比べていただいた。



『凱風快晴』

「富嶽三十六景 ～北斎芸術への誘い～」展 出展資料

	作品名	落款	板元印
1	凱風快晴	北斎改为一筆	
2	神奈川沖浪裏	北斎改为一筆	
3	山下白雨	北斎改为一筆	
4	深川万年橋	北斎改为一筆	
5	東都駿臺	北斎改为一筆	
6	青山円座松	北斎改为一筆	
7	武州千住	北斎改为一筆	
8	武州玉川	北斎为一筆	
9	甲州犬目峠	北斎改为一筆	
10	尾州不二見原	北斎改为一筆	
11	東都浅草本願寺	前北斎为一筆	
12	武陽佃嶋	前北斎为一筆	
13	相州七里濱	前北斎为一筆	永寿堂 極印
14	相州梅澤左	前北斎为一筆	
15	甲州石班澤	前北斎为一筆	
16	甲州三嶋越	前北斎为一筆	
17	信州諏訪湖	前北斎为一筆	永寿堂 極印
18	遠江山中	前北斎为一筆	
19	駿州江尻	前北斎为一筆	永寿堂 極印
20	常州牛堀	前北斎为一筆	永寿堂 極印
21	江都駿河町三井見世略図	前北斎为一筆	
22	御厩川岸より両国橋夕陽見	前北斎为一筆	永寿堂 極印
23	五百らかん寺さざゐどう	前北斎为一筆	永寿堂 極印
24	礪川雪ノ旦	前北斎为一筆	永寿堂 極印
25	下目黒	前北斎为一筆	永寿堂 極印
26	隠田の水車	前北斎为一筆	
27	相州江の鳶	前北斎为一筆	永寿堂 極印
28	東海道江尻田子の浦略図	前北斎为一筆	
29	東海道吉田	前北斎为一筆	
30	上総ノ海路	前北斎为一筆	
31	江戸日本橋	前北斎为一筆	
32	隅田川関屋の里	前北斎为一筆	
33	登戸浦	前北斎为一筆	
34	相州箱根湖水	前北斎为一筆	
35	甲州三坂水面	前北斎为一筆	
36	東海道路ヶ谷	前北斎为一筆	
37	本所立川	前北斎为一筆	
38	東海道品川御殿山ノ不二	前北斎为一筆	永寿堂 極印
39	相州仲原	前北斎为一筆	永寿堂 極印
40	駿州片倉茶園ノ不二	前北斎为一筆	
41	駿州大野新田	前北斎为一筆	永寿堂 極印
42	東海道金谷ノ不二	前北斎为一筆	永寿堂 極印
43	從千住花街眺望ノ不二	前北斎为一筆	
44	身延川裏不二	前北斎为一筆	
45	甲州伊沢暁	前北斎为一筆	
46	諸人登山	前北斎为一筆	

「～ 20 世紀を駆け抜けた国際的アーティスト～」

池田満寿夫の芸術世界」

会期：平成12年7月4日～平成12年12月3日

作品点数：76点

《展示目的》

1936年生まれの池田満寿夫は、苦勞の末、1966年にヴェネツィア・ビエンナーレ展で国際版画大賞を受賞し、国際的版画家の評価を確立した。1977年には小説『エーゲ海に捧ぐ』で芥川賞を受賞。版画家・小説家・エッセイスト・陶芸家・彫刻家等多彩な顔を持って活躍するが、1997年3月、心不全で急逝。まさに20世紀を駆け抜けた芸術家だった。

20世紀最後の年、光記念館では、日本を代表する国際的アーティスト池田満寿夫にスポットを当て、回顧の企画展を開催した。

《展示内容》

本展では、石版画、陶芸、書、ブロンズ彫刻、そして満寿夫がプロデュースした清酒『色』（高山市 老田酒造店 製造）等、マルチ・アーティストならではの多彩な芸術作品を幅広くご覧いただいた。



西瓜を食う女

「池田満寿夫の芸術世界」展 出展資料

版画	1 女の肖像	1966 年
	2 樹木	1961 年
	3 動物の婚礼	1962 年
	4 戸口へ急ぐ貴婦人たち	1962 年
	5 天使の靴	1963 年
	6 タエコの朝食	1963 年

	7	サイズはサイズ	1963 年
	8	化粧する女	1964 年
	9	青い衣装	1964 年
	10	私は何も食べたくない	1964 年
	11	聖なる手	1965 年
	12	海のスカート	1965 年
	13	楽園に死す	1965 年
	14	バラはバラ	1966 年
	15	spring and springs	1966 年
	16	愛の瞬間	1966 年
	17	ある種の関係	1966 年
	18	窓からの眺め	1966 年
	19	ブダペストからの自画像	1968 年
	20	マリリンの半分	1968 年
	22	少し長い指を持ったスフィンクス	
	23	座せるスフィンクス	1970 年
	24	遙かなる通り	1970 年
	25	海辺の光景	1970 年
	26	彼女の会話	1970 年
	27	笑って	1970 年
	28	ラッキーゾーン	1971 年
	29	五番街 A	1971 年
	30	裸のエマ	1971 年
	31	エジプト風のヴィーナス	1975 年
	33	姫	1980 年
	36	陽光のように	1981 年
	37	スポットライト	1981 年
	38	バラ色の中	1981 年
	39	赤い帽子の女	1985 年
	40	光琳の庭	1986 年
	41	光る海	1986 年
	42	天女乱舞 A	1988 年
	43	天女乱舞 B	1988 年
	44	天女乱舞 C	1988 年
	45	天女乱舞 D	1988 年
	46	天女乱舞 E	1988 年
	47	踊る人 サンバ	1990 年
	48	踊る人 マンボ	1990 年
	49	踊る人 タンゴ	1990 年
	50	動物の祭	1991 年
	51	炎の祭	1991 年
	52	バイオリン	1993 年
	53	バイオリニスト	1995 年
	54	ピアニストとバイオリニスト	1995 年
	55	人間のすべて	1997 年
	56	麒麟	
ブロンズ	1	アッシリア	1986 年
	2	聖者	1988 年

	3	神話	1989 年
	4	東大寺	1989 年
	5	佛塔— 02	1991 年
	6	佛塔— 04	1994 年
	7	A T P	1994 年
	8	犀 (Rhinoceros)	1995 年
	9	詩人	
		寓話	
書	1	夏すぎて	1991 年
	2	不易流行	1992 年
	3	風雅	1994 年
	4	いろはに	1994 年
		色	1900 年
布コラージュ		天女夢幻 (3 点 1 組)	1990 年
陶芸	1	舞鶴金鉢	1988 年
	2	y- 清流河	1988 年
	3	火雲海皿	1990 年
	4	y- 相模器	1990 年
	5	y- 五色沼大皿	1990 年
	6	y- 動響音	1992 年
	7	y- 頭龍	1992 年
	8	y- 静覚	1992 年
	9	y- 巖鉄	1993 年
	10	y- 冬の富士宮	1993 年
	11	白虎	1993 年
	12	葦原	1993 年
	13	コロラド	1993 年
	14	y- 古代夢幻	1993 年
	15	y- 古代ブルー	1994 年
	16	y- 青笛川	1994 年
	17	y- 雪見洞	1994 年
	18	y- 褐衣	1994 年
		富士百景・茶富士	1900 年
		富士百景・赤富士	1900 年
		富士百景・青富士	1900 年
		富士百景・金富士	1900 年
油画	1	窓辺から光る海	1986 年
	2	見つめ合う鳥	1989 年
	3	朝	1989 年
	5	白い鳥	1989 年
	4	無題	1989 年
	6	カードの女	1989 年
	7	西瓜を喰う女	1989 年
		清酒『色』	

「パリの知性 ロベール・ドアノー展」

会期：平成12年12月12日～平成13年3月4日

作品点数：54点

《展示目的》

第5回目の企画展は、京都現代美術館・何必館等のご協力をいただき、光記念館における初めての写真展としてロベール・ドアノー展を開催した。パリ以外どこにも旅行したことがないというドアノーは、混沌とした現実やうごめくパリの風景を半世紀以上もの間撮り続けた。そしてパリの下町に住む人々の性格に光を当て、時にはユーモラスに時には生き生きとその姿を写し出した。

20世紀最後の年にこの時代を捉えた風景として提示した。

《展示内容》

「写真は創るものではなく探すものだ」というドアノーが、パリの街を自由に歩きまわり、探しあてた場所や瞬間。そこにはパリ庶民の喜びや哀しみ、優しさや憂いがあり、ドアノーの皮肉とユーモアがある。

ドアノーの写真記事を張り巡らせた広告塔が、パリの街路を演出する中、子供達・街路・恋人・酒場・芸術家という5つのテーマ毎にドアノーの写真を展示した。

見学者はドアノーの共犯者となり、写真家ドアノーの視線でパリ庶民の生活をのぞき見たことになる。

「ロベール・ドアノー」展 出展資料

ジャンル	作品名		年
I_ENDANTS 子供達	L'enfant papillon	バビヨンの子供	1945 年
I_ENDANTS 子供達	L'information	耳打ち	1956 年
I_ENDANTS 子供達	L'enfant émerveillé	びっくりさせられた子供	1951 年
I_ENDANTS 子供達	La poterne des peupliers	ポプラ並木の暗い道	1934 年
I_ENDANTS 子供達	La première maîtresse	初めての先生	1935 年
I_ENDANTS 子供達	Les pieds au mur	壁逆立ち	1934 年
I_ENDANTS 子供達	Les glaneurs de charbon	炭拾い	1945 年
I_ENDANTS 子供達	Les gosses à roulettes	ローラースケートの子供達	1949 年
I_ENDANTS 子供達	Les petits enfants au lait	牛乳を持つ幼児達	1932 年
ILAMOUREUX 恋人	Le baiser de l'Hôtel de Ville	市庁舎前のキス	1950 年
ILAMOUREUX 恋人	Café Noir et Blanc	カフェ 黒と白	1948 年
ILAMOUREUX 恋人	Le square du Vert galant	ベール・ギャランの小さな公園	1950 年
ILAMOUREUX 恋人	Les amoureux aux poireaux	ネギを持つ恋人達	1950 年
ILAMOUREUX 恋人	La fuite des mariés	恋人達の逃亡	1951 年
ILAMOUREUX 恋人	Le ruban de la mariée	花嫁のリボン	1951 年
ILAMOUREUX 恋人	La mariée chez Gégène	シェ・ジェジェーヌの花嫁	1946 年
ILAMOUREUX 恋人	Vice et Versailles	ヴェルサイユと悪徳	1966 年
ILAMOUREUX 恋人	Photo aérienne	空中写真	1950 年

II_AMOUREUX 恋人	Le vélo du printemps	春の自転車	1948 年
II_AMOUREUX 恋人	La dernière valse	最後のワルツ	1949 年
II_AMOUREUX 恋人	Baiser Blottot	プロットのキス	1950 年
II_AMOUREUX 恋人	Les amoureux de Choisy le Roi	ショワシー・ル・ロワの恋人	1946 年
II_AMOUREUX 恋人	La stricte intimité	厳粛な関係	1945 年
III_BISTROTS 酒場	Mademoiselle Anita	マドモワゼル アニタ	1951 年
III_BISTROTS 酒場	Un veau échaudé	ひどい目に合わされた仔牛	1968 年
III_BISTROTS 酒場	Le mimosa	ミモザ	1952 年
III_BISTROTS 酒場	La trépidante Wanda	陽気なワンダ	1953 年
III_BISTROTS 酒場	Coco	ココ	1952 年
III_BISTROTS 酒場	Créature de rêve	夢の想像物	1952 年
III_BISTROTS 酒場	Les animaux supérieurs	すぐれた動物達	1954 年
III_BISTROTS 酒場	Le petit balcon	かわいいバルコニー	1953 年
III_BISTROTS 酒場	Le couple de la Râpée	すりきれたカップル	1951 年
III_BISTROTS 酒場	La musique des Puces	のみの市の音楽	1944 年
III_BISTROTS 酒場	Les bouchers mélomanes	口をふさぐ音楽狂	1953 年
IV_LA RUE 街路	Le manège de Monsieur Barré	ムッシュ・バレのメリー・ゴーランド	1955 年
IV_LA RUE 街路	Le fox-terrier du Pont des Arts	芸術橋のフォックステリア	1953 年
IV_LA RUE 街路	Promenade dominicale	日曜の散策	1933 年
IV_LA RUE 街路	Paris se soulève	持ち上がるパリ	1944 年
IV_LA RUE 街路	L'enfer	地獄	1952 年
IV_LA RUE 街路	Les chiens de la Chapelle	教会の犬	1953 年
IV_LA RUE 街路	Un regard oblique	斜めの視線	1948 年
IV_LA RUE 街路	Vénus prise à la gorge	胸をつかまえられたヴィーナス	1964 年
IV_LA RUE 街路	Le rideau de fer	シャッター	1953 年
IV_LA RUE 街路	Au bon coin	オウ・ボン・コワン	1945 年
IV_LA RUE 街路	Nicole Courcel	ニコル・クールセル	1949 年
V_ARTISTE 芸術家	Les pains de Picasso	ピカソのパン	1952 年
V_ARTISTE 芸術家	Le Corbusier	ル・コルビジェ	1944 年
V_ARTISTE 芸術家	Fernand Léger dans ses oeuvres	フェルナンド・レジェ作品と共に	1954 年
V_ARTISTE 芸術家	Georges Braque	ジョルジュ・ブラック	1953 年
V_ARTISTE 芸術家	Jean Arp	ジャン・アルプ	1958 年
V_ARTISTE 芸術家	Alberto Giacometti	アルベルト・ジャコメッティ	1957 年
V_ARTISTE 芸術家	Tinguely-Portrait de l'artiste	ティンゲリー 芸術家の肖像	1959 年
V_ARTISTE 芸術家	Savignac aux échecs	王手するサヴィニャック	1950 年
V_ARTISTE 芸術家	Le vélo de Tati	タティの自転車	1950 年

「光悦・仁清・乾山と伝統の美 ～琳派の祖を偲ぶ～」

会期：平成13年3月13日～平成13年9月2日

作品点数：100点

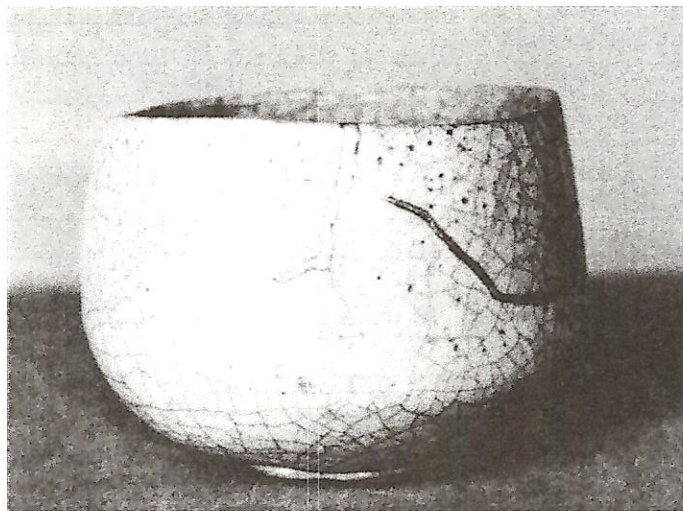
《展示目的》

2001年に開館3周年を迎えた光記念館では、“21世紀に受け継がれた日本の伝統の美”を後世に伝えることを目的とし、特別企画展を開催した。

本企画展は、桃山時代から江戸時代にかけて、絵画と工芸の境を越えて展開した、豊かで雅な装飾芸術の流れ『琳派』の祖を偲ぶものであった。

《展示内容》

琳派が生み出される背景には、千利休が完成した「茶道」の隆盛があり、大名・茶人たちの美意識は、本阿弥光悦や俵屋宗達を祖とする琳派の美にも大きく影響を与えている。そこで本企画展では、本阿弥光悦・野々村仁清・尾形乾山らの茶道具を中心に、優れた意匠と技術によって培われた名品の数々を展示した。



本阿弥光悦「あけぼの」

「光悦・仁清・乾山と伝統の美 ～琳派の祖を偲ぶ～」展 出展資料

種別	番号	作 品 名	作 者	時代
掛軸 22 点	1	「竹根稚子～ 墨跡	弘法大師	平安
	2	小倉色紙 古筆	伝 藤原定家	鎌倉
	3	醉芙蓉 唐絵		元・明
	4	遠浦帰帆図 絵	雪舟	鎌倉
	5	朝顔 絵	俵屋宗達	江戸初期
	6	夕顔 絵	探幽と光琳の合作	江戸中期
	7	鴨立つ沢 絵	尾形乾山	江戸中期
	8	御宸翰切 「七夕」古筆	霊元院	江戸中期
	9	呂洞賓図	初代 狩野正信	室町
	10	摘穂之儀 絵	狩野探幽	江戸中期

	11	御宸翰切 「世にふるは…」 古筆	靈元院	江戸中期
	12	御宸翰切 「あふ人に…」 古筆	靈元院	江戸中期
	13	藤の図	俵屋宗達	江戸初期
	14	「おもひかね いもかりゆけば…」 古筆	近衛信伊	1565-1614
	15	「たにごろも…」 古筆	近衛信伊	桃山
	16	「みやまぢに…」 古筆	本阿弥光悦	桃山—江戸初期
	17	「いせにもうでて…」 墨跡	伝 西行法師	平安
	18	「諸悪莫作…」 墨跡	一休和尚	室町
	19	「是非元勝負…」 墨跡	一休和尚	室町
	20	達磨大師 絵	宮本武蔵絵、沢庵和尚賛	江戸初期
	21	墨梅図	酒井抱一	江戸中期
	22	扇面 撫子図	俵屋宗達	江戸初期
茶碗 24点	30	色絵菱腰帯文茶碗	野々村仁清	江戸初期
	31	楽茶碗 銘:あけぼの	本阿弥光悦	江戸初期
	32	赤楽茶碗 銘:初雪	本阿弥光悦	江戸初期
	33	錆絵あざみ図茶碗	仁清と乾山合作	江戸初期
	34	瀬戸黒茶碗 銘:冬ごもり		季朝
	35	大徳寺呉器茶碗	御本	江戸初期
	36	瀬戸光悦茶碗 銘:深山路	光悦 掛物と組み合わせる	江戸初期
	37	黒織部茶碗 銘:千鳥		桃山
	38	ととや茶碗 銘:あさ	ととや青手	季朝
	39	黒織部杢形茶碗		桃山
	40	白天目茶碗(台付)	美濃古窯	室町末桃山
	41	黒楽すすき図茶碗	尾形乾山	江戸中期
	42	唐津茶碗 銘:朝露		桃山
	43	古志野平茶碗	美濃古窯	桃山
	44	三作三嶋茶碗		李朝
	45	そば茶碗 銘:花吹雪	御本 高麗茶碗	李朝
	46	遠州高麗茶碗 銘:九重	御本 高麗茶碗	李朝
	47	高麗堅手平茶碗		李朝
	48	本手ととや茶碗		李朝
	49	本手ととや茶碗		李朝
	50	古井戸茶碗		高麗
	51	そば茶碗 銘:一片月		李朝
	52	本手瀬戸唐津茶碗 銘:白鹿		桃山
	* 53	色絵若松椿図茶碗		
花入 11点	60	古信楽伊賀肩衝偏平壺		桃山
	61	古伊賀蹲花入	有来新兵衛	桃山末
	62	古信楽花入	有来新兵衛	桃山末
	63	古染付方尊式花入		明・天啓
	64	織部振出花入	美濃古窯	桃山
	65	古瀬戸尊式花入	美濃古窯	鎌倉
	66	古七宝尊式花入		明
	67	黄古瀬戸旅枕花入	美濃古窯	室町
	68	琉球南蛮花入		江戸中期
	69	竹(福耳切)花入		
	70	竹(福耳切)花入		
香合 8点	71	椎朱布袋香合		明

	72	古志野雪割草香合	美濃古窯	桃山
	73	椎朱俱利香合		元
	74	椎朱李白観瀑図		明
	75	青磁桔梗香合		明
	76	古志野すはま形香合	美濃古窯	桃山
	77	狸香合	光悦	江戸初期
	78	青貝人物図香合		明
香炉 2点	80	砧青磁袴腰大香炉		南宗
	81	花籠図香炉	乾山 晩年作	江戸中期
釜 3点	90	阿弥陀堂利休釜	辻与次郎	桃山
	91	古芦屋真霰釜		室町
	92	霰甲冑釜	西村九兵衛（宗旦の釜師）	明暦・延宝
水指 4点	100	利休信楽一重口水指		桃山
	101	古伊賀矢筈口水指		桃山
	102	古伊賀一重口水指		桃山
	103	古瀬戸平水指		鎌倉
茶器・茶入 6点	110	黄瀬戸茶桶 銘：三笠の山		鎌倉
	111	古瀬戸耳付茶入		室町
	112	祥瑞吉の字茶器		江戸初期（明末）
	113	砧青磁酒会茶入		南宗
	114	葛茄子茶入		桃山
	115	飯胴茶入	仁清	江戸中期
茶杓 4点	120		蒲生氏郷	桃山
	121		珠徳	室町
	122	（共筒）	金森宗和	江戸初期
	123	（象牙製）		
蓋置 1点	132	七官青磁夜学蓋置		明
鉢（菓子器）5点	140	織部 手付鉢		桃山
	141	赤絵呉須 魁		明
	142	赤絵呉須 福		明
	143	雪笹透平鉢	尾形乾山	江戸中期
	144	梅月絵四方皿	尾形乾山	江戸中期
盆 5点	150	古根来丸盆		鎌倉
	151	古根来輪花盆		室町
	152	唐物堆黒盆		明
	153	天平盆		天平
	154	赤塗御膳（赤盆）		
燭台 1点	160	昇降龍文青磁燭台		江戸
屏風 1点	* 170	四季草花図屏風	宗達工房	江戸

* 53、* 170 は光記念館所蔵、その他は個人コレクション

「歌川広重 東海道五十三次展」

～江戸浮世絵師の見た日本の風景～

会期：平成13年9月11日～平成13年12月24日

作品点数：56点

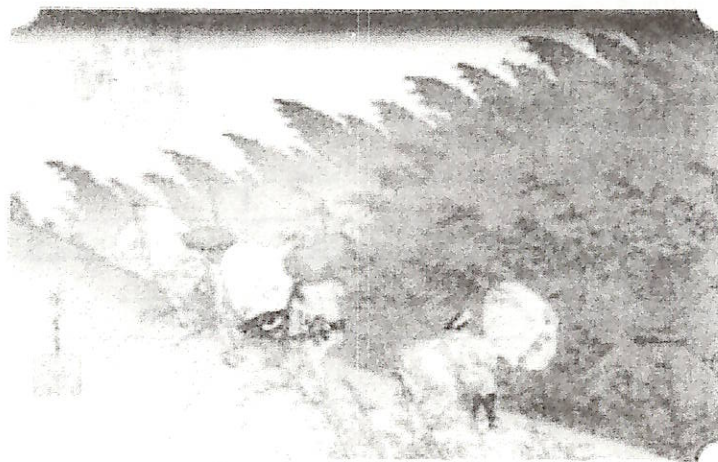
《展示目的》

平成13年は、慶長6（1601）年に江戸と京を結ぶ東海道宿駅が制定されてから400年に当たり、これを記念し歌川広重の名品をご高覧いただくと共に、開館3周年特別企画展として、21世紀に受け継がれた日本の伝統の美を後世に伝えることを目的とした。

《展示内容》

広重は寛政9（1797）年、江戸八代洲河岸に住む幕府の定火消同心の安藤家に生まれ、幼名を徳太郎、号は一遊斎、一幽斎、一立斎等という。文化8（1811）年頃、歌川豊広に入門し、文政元（1818）年頃から広重を名乗り作品を発表する。天保2（1831）年頃「東都名所」を発表し、風景版画の分野に進出した。翌年8月1日に幕府が朝廷に駿馬を献上する八朔御馬献上の儀礼に記録絵師として参加した広重は、はじめて江戸から京都までを旅し、その間の風景スケッチをもとに広重独自の叙情的な風景画「東海道五十三次」（保永堂版）を描き出版している。この成功により広重は風景版画における第一人者としての名声を一躍高めた。

光記念館は「東海道五十三次」（保永堂版）をすべて所蔵していることから、全55点を一堂に公開し、さらに広重の肉筆画を展示することで版画との対比を試みた。



東海道五十三次「庄野」

「歌川広重 東海道五十三次」展 出展資料

	資料名	外 題			落款	版元	刊行年	判型
	東海道五十三次	東海道					天保4・5年	
◎	保永堂版	五十三次之内	日本橋	朝之景	廣重画	保・僊	(1832・33) 頃	大判錦絵
1	〃	〃	品川	日之出	〃	〃	〃	〃
2	〃	〃	川崎	六郷渡舟	〃	〃	〃	〃
3	〃	〃	神奈川	台之景	〃	保	〃	〃
4	〃	〃	保土ヶ谷	新町橋	〃	保・僊	〃	〃
5	〃	〃	戸塚	元町別道	〃	〃	〃	〃
6	〃	〃	藤沢	遊行寺	〃	保	〃	〃
7	〃	〃	平塚	縄手道	〃	保・僊	〃	〃
8	〃	〃	大磯	虎ヶ雨	〃	保	〃	〃
9	〃	〃	小田原	酒匂川	〃	〃	〃	〃
10	〃	〃	箱根	湖水図	〃	〃	〃	〃
11	〃	〃	三島	朝霧	〃	〃	〃	〃
12	〃	〃	沼津	黄昏図	〃	〃	〃	〃
13	〃	〃	原	朝之富士	〃	〃	〃	〃
14	〃	〃	吉原	左富士	〃	〃	〃	〃
15	〃	〃	蒲原	夜之雪	〃	〃	〃	〃
16	〃	〃	由井	薩埵嶺	〃	〃	〃	〃
17	〃	〃	奥津	興津川	〃	保・僊	〃	〃
18	〃	〃	江尻	三保遠望	〃	保	〃	〃
19	〃	〃	府中	安部川	〃	〃	〃	〃
20	〃	〃	鞠子	名物茶店	〃	保・僊	〃	〃
21	〃	〃	岡部	宇津之山	〃	僊	〃	〃
22	〃	〃	藤枝	人馬継立	〃	保・僊	〃	〃
23	〃	〃	嶋田	大井川駿岸	〃	保	〃	〃
24	〃	〃	金谷	大井川遠岸	〃	〃	〃	〃
25	〃	〃	日坂	佐夜ノ中山	〃	保・僊	〃	〃
26	〃	〃	掛川	秋葉山遠望	〃	保	〃	〃
27	〃	〃	袋井	出茶屋ノ図	〃	保・僊	〃	〃
28	〃	〃	見附	天竜川図	〃	保	〃	〃
29	〃	〃	浜松	冬枯ノ図	〃	〃	〃	〃
30	〃	〃	舞坂	今切真景	〃	〃	〃	〃
31	〃	〃	荒井	渡舟ノ図	〃	〃	〃	〃
32	〃	〃	白須賀	汐見阪図	〃	〃	〃	〃
33	〃	〃	二川	猿ヶ馬場	〃	〃	〃	〃
34	〃	〃	吉田	豊川橋	〃	〃	〃	〃
35	〃	〃	御油	旅人留女	〃	〃	〃	〃
36	〃	〃	赤阪	旅舎招婦ノ図	〃	〃	〃	〃
37	〃	〃	藤川	棒鼻ノ図	〃	〃	〃	〃
38	〃	〃	岡崎	矢矧之橋	〃	〃	〃	〃
39	〃	〃	池鯉鮒	首夏馬市	〃	〃	〃	〃
40	〃	〃	鳴海	名物有松絞	〃	〃	〃	〃
41	〃	〃	宮	熱田神事	〃	〃	〃	〃
42	〃	〃	桑名	七里渡口	〃	〃	〃	〃
43	〃	〃	四日市	三重川	〃	〃	〃	〃
44	〃	〃	石薬師	石薬師寺	〃	〃	〃	〃
45	〃	〃	庄野	白雨	〃	〃	〃	〃
46	〃	〃	龜山	雪晴	〃	〃	〃	〃
47	〃	〃	関	本陣早立	〃	〃	〃	〃
48	〃	〃	阪之下	筆捨嶺	〃	〃	〃	〃
49	〃	〃	土山	春之雨	〃	〃	〃	〃
50	〃	〃	水口	名物干瓢	〃	〃	〃	〃
51	〃	〃	石部	目川ノ里	〃	〃	〃	〃
52	〃	〃	草津	名物立場	〃	〃	〃	〃
53	〃	〃	大津	走井茶店	〃	〃	〃	〃
◎	〃	〃	京師	三條大橋	〃	〃	〃	〃

保＝保永堂 僊＝僊鶴堂 全て光記念館所蔵

「化石の王様 アンモナイト展」

～学ぼう・遊ぼう・触れてみよう～

会期：平成13年7月30日～平成14年9月2日

作品点数：約50点

《展示目的》

化石の中でも知名度の高いアンモナイトを紹介し、生命とそれを取りまく環境に対して、興味や好奇心を湧かせ、展示を通して生命の尊さを感じていただくことを目的とした。

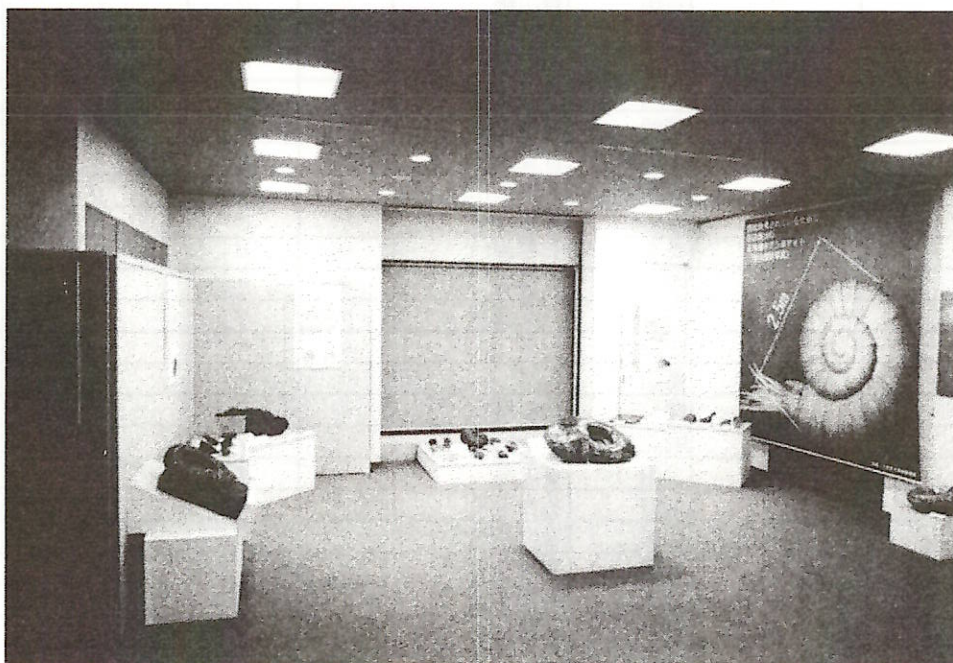
《展示内容》

手取層群から発見されたアンモナイトをはじめ、ドイツの大型アンモナイト、ブラジル、アフリカ等のアンモナイトや北海道の白亜紀異常巻きアンモナイトも紹介し、化石に直接手で触れて体験できる展示を行なっている。

また、展示の補足として世界最大の正常巻きアンモナイトの復元写真や解説シートを設置している。

＜グラフィック＞

- G-1 ごあいさつ
- G-2 アンモナイトって何？
- G-3 アンモナイトとオウムガイ
- G-4 アンモナイトの分類
- G-5 世界最大の正常巻きアンモナイト
- G-6 おわりに



アンモナイト企画展



体験学習コーナー（Q&A）とアンモナイトレプリカ作りの様子

「化石の王様 アンモナイト」展 出展資料

展示グラフィック	展示キャプション	展示資料	個数	採取地
あいさつ				
アンモナイトって何？				
	アンモナイトが教えてくれる情報			
		Ammonoidea	1	ドイツ
		<i>Morphoceratidae?</i> gen. et asp. indet.	1	岐阜県荘川村
		Ammonoidea	3	岐阜県荘川村
アンモナイトとオウムガイ		<i>Gaudryceras</i> sp.	2	北海道
	アンモナイトとオウムガイの違い	<i>Damsites damesi</i>	2	北海道
		<i>Dametites damesi</i>	2	
		Nautiloidea	1	モロッコ
	アンモナイトの住んでいた海	<i>Gaudryceras</i> sp.	1	北海道
		Ammonoidea	1	ネパール
		Ammonoidea	1	アフリカ
		Ammonoidea	1	ブラジル
		Ammonoidea	4	北海道
		<i>Eupachydiscus haradai</i>	1	北海道
		<i>Tetragonites glabrus</i>	1	北海道
		<i>Gaudryceras denseplicatum</i>	1	北海道
		<i>Anagoudryceras limatum</i>	1	北海道
		<i>Gaudryceras</i> sp.	9	北海道
		<i>Tetragonites glabrus</i>	10	北海道
アンモナイトの分類				
	アンモナイトの異常巻きの理由			
		Ammonoidea	2	北海道
		<i>Subptychoceras jimboi</i>	2	北海道
		<i>Eubosttrychoceras japonicum</i>	1	北海道
		<i>Subptychoceras yubariense</i>	1	北海道
		<i>Scalarites scalaris</i>	2	北海道
	アンモナイトの縫合線		1	
おわりに				メキシコ
		<i>Pachydiscus</i> sp.	1	

「マヤの拓本展」

会期：平成13年10月16日（火）～平成14年5月12日（日）

作品点数：10点

《展示目的》

紀元前600年～900年頃、中米グアテマラを中心に繁栄した古代マヤ文明では多くの石彫が造られ、それらは貴重な文化遺産として今日に受け継がれている。

しかし、現在これらの石彫は酸性雨等の影響により劣化している状況である。貴重な文化遺産を後世に伝えることを目的とし企画展を開催した。

《展示内容》

TIKAL神殿をはじめとする石碑の拓本をパネル展示した。

＜グラフィック＞

- G-1 あいさつ文
- G-2 マヤ文明とは
- G-3 マヤ石彫の拓本について
- G-4 マヤ文明の範囲

番号	資料名	パネルサイズ	備考
1	C E I B A L 1 号石碑	H2370 × W1240	
2	T E K A L 5 号石碑（右側）	H2065 × W480	
3	Q U I R G U A L 祭壇	H980 × W100	
4	T E K A L 31 号石碑（右側）	H1890 × W640	
5	C E I B A L 7 号石碑	H1930 × W1020	
6	C E I B A L 13 号石碑	H1970 × W1130	
7	T E K A L 31 号石碑（左側）	H1930 × W635	
8	T E K A L 12 号祭壇	H950 × W1020	
9	T E K A L 5 号石碑（左側）	H2040 × W490	
10	C E I B A L 8 号石碑	H2350 × W1250	

「浮世絵の魅力 ～江戸の春に夢見る～」

会期：平成14年1月12日（土）～平成14年3月10日（日）

作品点数約30点

《展示目的》

日本が世界に誇る芸術品『浮世絵』の魅力は、見た目の美しさのみならず、当世の風俗を古典の雅になぞらえる感覚のすばらしさや、詩的叙情性の豊かさ等にある。日本の伝統的な絵画を鑑賞していただくことを目的とする。。

《展示内容》

本企画展では、江戸時代に盛行した庶民的な社会風俗絵画“浮世絵”の中でも、大量に出版された版画ではなく、世の中に1点しかない肉筆画ばかり30点を展示した。



「七世市川団十郎隅田川渡舟図」歌川国次

江戸時代後期

「浮世絵の魅力 ～江戸の春に夢見る～」展 出展資料

番号	作 品 名	作 者	時 代
1	二見ヶ浦	歌川国継	江戸時代後期
2	追い羽根	宮川長春	江戸時代中期
3	二美人と男	菱川派	江戸時代前期
4	達磨と美人	作者不詳	江戸時代前期
5	立ち美人	古山師政	江戸時代中期
6	雪見酒	川又派	江戸時代中期
7	奴風	作者不詳（明和・安永期諸画人）	江戸時代中期
8	語らい	田中益信（西村・石川派）	江戸時代中期
9	摘み草	柳々居辰斎	江戸時代後期
10	雪見美人	水野廬朝（北尾派）	江戸時代中期～後期
11	雪中美人	菊川派	江戸時代後期
12	男舞	白玉斎（京洛諸画人）	江戸時代
13	凍る朝の母と娘	歌川国宗	江戸時代後期
14	立ち美人	宮川長春	江戸時代中期
15	立ち美人	懷月堂派	江戸時代中期
16	立ち美人	懷月堂派	江戸時代中期
17	雪中傘さし美人	二代 鳥居清満	江戸時代後期
18	七世市川団十郎 隅田川渡舟図	歌川国次	江戸時代後期
19	雪中傘さし美人	宮川正幸	江戸時代中期
20	傘持つ美人	歌川派	江戸時代後期
21	鶴と椿	作者不詳（友禅系）	江戸時代
22	黒木壳	藤鷹（鳥山・喜多川派）	江戸時代中期
23	梅を愛でる母子	鳥山・喜多川派	江戸時代後期
24	追い羽根	東艶斎花翁（西村派）	江戸時代中期
25	福祿寿と遊女	鳥文斎栄之	江戸時代中期～後期
26	佐保姫	月岡雪斎	江戸時代中期
27	文を書く美人	宮川一笑	江戸時代中期
28	梅下美人	柳雪堂文丈（川又派）	江戸時代中期
29	梅を見る女	籟堂（西村・石川派）	江戸時代中期
30	文読む二美人	作者不詳（京洛諸画人）	江戸時代
31	黒木壳	葛飾派	江戸時代後期

B. 教育普及活動

[1] 講演会

平成12年度、平成13年度はそれぞれ4回講演会を開催した。

平成 12 年度講演会 1

第1回目の特別講座を、東京大学名誉教授の濱田隆士先生をお招きし、下記の通り実施した。難しい内容を楽しく語る話し振りに、大人の方が熱心に聞き入っていた。

《開催内容》

日 時：平成12年7月16日（日）13：00～14：30

講 師：濱田隆士 東京大学名誉教授

主 題：『解き明かされた三葉虫の謎』

場 所：当館1階小ホール

参加人数：95名（定員108名）

講座概要：東京大学名誉教授であり、生命の星・地球博物館の館長でもいらっしゃる濱田隆士先生に、地域に対する知識意欲の高い地元の方を対象にして、飛騨の自然や地中に残された太古の世界へのロマンについて体験を交えながら語っていただき、好評のうちに終了した。

平成 12 年度講演会 2

第2回目の特別講座を、辻先生をお招きし、下記の通り実施した。

《開催内容》

日 時：平成12年8月27日（日）13：30～15：00

講 師：辻 維周 グアム大学ミクロネシア地域研究センター研究員

主 題：『古代遺跡は、何を語るのか！』

場 所：当館1階小ホール

参加人数：103名

講座概要：日本各地やミクロネシア、ポリネシア地域等に存在するピラミッド型の山や石造、ストーンサークル等を紹介していただき、それに関する太陽信仰についての話を映像やスライドを用いて、分かりやすく説明していただいた。

平成 12 年度講演会 3

第3回目の特別講座を、岐阜県金山町岩屋岩陰遺跡に関する講座を下記の通り実施した。

《開催内容》

日 時：平成12年9月15日（日）13：30～14：30

講 師：小林 由来

主 題：『巨石群に秘められた太陽暦の謎』

場 所：当館1階小ホール

参加人数：61名

講座内容：県指定遺跡である金山町の岩屋岩蔭遺跡では、後の調査によって古代の人々が夏至や冬至、春分や秋分の太陽の位置を知った上で巨石を並べていたことがわかっている。小林先生より映像を見ながら説明をいただいた。

平成 12 年度講演会 4

第4回目の特別講座を、三内丸山遺跡対策室文化財保護主幹 岡田康博先生をお招きして下記の通り実施した。縄文時代に興味のある地元の方が多く参加され、質疑応答も具体的な質問が多く、質の高いものとなった。

《開催内容》

日 時：平成12年10月8日（日）13：30～15：00

講 師：岡田康博 三内丸山遺跡対策室文化財保護主幹

主 題：『甦る縄文世界の秘密PART II』

場 所：当館1階小ホール

参加人数：110名

講座概要：近年の発掘・調査・研究により、新しい縄文観が定着しつつある。従来の縄文観を覆すきっかけとなった三内丸山遺跡の解説を中心に、縄文の全体像と調査の様子を、縄文時代についてなじみのない人にも分かりやすく紹介していただいた。三内丸山遺跡の案内パンフレットを渡し、スライドを映しながら説明した。建物、道路、墓の配置等縄文社会における都市計画が浮き彫りとなった。また、縄文研究の始まりや海外への広がり等多岐に渡る内容のお話をいただき、縄文時代について詳しく知らない人でもとても分かりやすいと好評を得た。

平成 13 年度講演会 1

第1回目の特別講座を、（財）自然史科学研究所研究員、理学博士、大花民子先生をお招きして下記の通り実施した。

《開催内容》

日 時：平成13年8月7日（火）13：30～15：00

講 師：大花民子 （財）自然史科学研究所研究員、理学博士

主 題：『飛騨で新発見 シュードファボシテス オクヒダエンシス・飛騨から世界へ
情報発信！！～古生物を中心とした飛騨自然史科学～』

場 所：当館1階小ホール

参加人数：71名

講座概要：地質年代やその名称の由来、地質学・古生物学の発祥等に関する基本的な内容から、岐阜県の地層・岩石・化石、また当館所蔵化石より発見された新種のサンゴ「シュードファボシテス・オクヒダエンシス」についてスライドを映しながら分かりやすく説明をいただいた。

平成 13 年度講演会 2

第2回目の特別講座を、エジプトアラブ文化研究会副会長 村治笙子先生をお招きして、下記の通り実施した。

《開催内容》

日 時：平成13年8月26日（日）13：00～14：30

講 師：村治笙子 エジプトアラブ文化研究会副会長

主 題：『古代エジプト人の知恵～ピラミッドをつくった人々～』

場 所：当館1階小ホール

参加人数：113名

講座概要：エジプト文明はギザの三大ピラミッドやスフィンクス、ツタンカーメン王の名で世界的に知られており、参加者もエジプト文明に興味を持つ人が多く見受けられた。講師の村治笙子先生は昨年のNHK四大文明展でも講師を務められており、古代エジプト文明の魅力を建築のみならず、壁画・古代文字・遺物の素材・現代との比較等、あらゆる角度から子供にも分かりやすくお話くださった。NHK四大文明展でも活用した美しいスライド映像を活用し、参加者にエジプト文明への理解を深めていただいた。参加者には、エジプト文明の地図・スライド解説・ヒエログリフ一覧表等を記載したプリントを配布している。

平成 13 年度講演会 3

第3回目の特別講座を、三内丸山遺跡対策室文化財保護主幹 岡田康博先生をお招きして下記の通り実施した。縄文時代に興味のある地元の方が多く参加され、質疑応答も具体的な質問が多く、質の高いものとなった。

《開催内容》

日 時：平成13年9月30日（日）13：00～14：30

講 師：岡田康博 三内丸山遺跡対策室文化財保護主幹

主 題：『縄文文化の扉を開く～三内丸山遺跡からのメッセージ～』

場 所：当館1階小ホール

参加人数：118名

講座概要：日本最大級の縄文集落・三内丸山遺跡の発見は、従来の縄文観を大きく覆すものだった。昨年に引き続き岡田康博氏をお迎えし、三内丸山遺跡の最新情

報と今年から始まった日中共同調査における最新の調査結果を美しいスライド映像と共にお話いただいた。参加者には三内丸山遺跡のパンフレットと中国の遺跡解説プリントを配布した。

平成 13 年度講演会 4

第4回目の特別講座を、東京大学名誉教授・リトルワールド館長大貫良夫先生をお招きして下記の通り実施した。大貫先生は1年の3分の1をペルーで過ごし、調査団長として発掘・調査・研究に活躍している。長年の調査の成果と共にアンデス文明の全体像についてお話いただいた。

《開催内容》

日 時：平成13年11月18日（日）13：00～14：30

講 師：大貫良夫 東京大学名誉教授・リトルワールド館長

主 題：『古代インカ文明黄金発掘紀行～アメリカ大陸最古の黄金製品～』

場 所：当館1階小ホール

参加人数：117名

講座概要：東京大学遺跡調査団長を務める大貫良夫氏より、1989年にアメリカ大陸最古の金製品が発掘された古代アンデス文明、クントウル・ワシ遺跡についてお話いただいた。60枚のカラースライドを使用して、発掘調査の様子や遺物を、また、遺跡近くに建設した博物館のことや、今年からユネスコの協力を得て遺跡の補修が進み、現在神殿の階段部分が復元されていること等も説明していただいた。参加者には「アンデス文明の形成とクントウル・ワシの神殿」と題したプリントを配布した。

[2] ボランティア活動

当館では、開館前にボランティア養成講座を、平成10年10月～平成12年10月にかけて8回開催した（対象は陽光子友乃会会員より募集）。

来館者に接することを想定し、一般教養、礼節・マナーを重視し、明るく、礼儀正しく、笑顔がさわやかな、誰にでも親切なボランティアとして活動していただけるよう養成に努めた。

開館後は、北は北海道から南は九州まで、全国から約50名のボランティア（19歳～75歳まで幅広い年齢層の方）に活動していただいている。

[3] 展示解説

ピラミッドの外観をした当館は、地上1階地下3階建てという特殊な構造をしており、内

部に自然史、歴史、美術という3つの異なる分野の展示室を持つ総合博物館であるため、初めて訪れた来館者は館内で迷うことも少なくない。

来館者に興味のある所から見学をしていただいているが、来館者の希望と時間的制約に応じて、下記の3通りの展示解説員による解説業務を実施した。

イ. 展示室解説

飛騨展示室、人類史展示室、美術展示室の各展示室で主な展示物の紹介や展示ストーリーの解説を実施した。展示室に常駐している学芸（解説）員が、来館者の希望や理解度に応じて解説を行なうもので、時間は来館者の希望に合わせることを原則としている。人と人とのふれあいを重視しながら、興味のうすい方にもわかりやすい解説を試みている。

平成12・13年度において約140件の団体に案内を行った。

ロ. 館内全体解説

館全体を一通り案内しながら、各展示の解説を実施した。個々の展示物の解説よりも、館の概要や展示構成等に重点を置いた解説で、一人の学芸（解説）員が最後まで案内するものである。団体や予約されていた方を優先しているが、当日解説を申し出た個人来館者にもできるだけ対応している。所要時間は来館者の希望に合わせることが原則で、特に制約がない場合は約1時間30分程度を目安としている。

ハ. 特別展解説

企画展開催期間中、企画展示室に学芸（解説）員が常駐し、展示室内で解説希望の有無を確認しながら随時解説を行なった。所要時間は企画展の内容によって異なるが、約25～30分くらいを目安としている。企画展の場合はリピーターも多く、その分野に深く興味を持った来館者に対しては専門の学芸員が直接詳細解説や質疑応答を行なうこともある。

尚、平成13年度より毎週日曜・祝祭日の13：15～13：45まで（約30分）学芸員による企画展展示解説を実施している。

[4] 広報・宣伝活動

1. 広報・宣伝用印刷物の作成

各特別企画展毎に広報・宣伝用印刷物を作成している。

平成12・13年度開催の特別企画展毎の広報宣伝用印刷物

『～富嶽三十六景～ 北斎芸術への誘い』

B3判ポスター

3,000枚

A4判チラシ 40,000枚

『池田満寿夫の芸術世界』

～20世紀を駆け抜けた国際的アーティスト～』

B1判ポスター 500枚

B3判ポスター 2,000枚

A4判チラシ 20,000枚

『～パリの知性～ ロベール・ドアノー展』

B3判ポスター 1,500枚

『光悦・仁清・乾山と伝統の美 ～琳派の祖を偲ぶ～』

B2判ポスター 10,200枚

A4判チラシ 70,000枚

『歌川広重 東海道五十三次展 ～江戸浮世絵師の見た日本の風景～』

B2判ポスター 2,000枚

A4判チラシ 40,000枚

『浮世絵の魅力 ～江戸の春に夢見る～』

B2判ポスター 3,000枚

A4判チラシ 40,000枚

『その他案内紹介物』

光記念館オリジナルポスター 100,000枚

光記念館案内和文リーフレット（2版） 20,000部

2. 報道関係者への情報提供

イ、各特別企画展毎に内覧会の開催。

（第3回）

開催日：平成12年7月4日（火）

（第4回）

開催日：平成13年1月16日（火）

（第5回）

開催日：平成13年3月10日（土）

(第6回)

開催日：平成13年9月11日（火）

(第7回)

開催日：平成14年1月12日（土）

対象者：新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等のマスコミ関係者。

内 容：

- ① 新特別企画展についての展示概要の説明。
- ② 季節をテーマにした常設美術展示の展示替えについての展示概要の説明。
- ③ その他、報道関係者に、より豊富な情報の提供につとめている。

ロ、特別企画展開催毎に報道関係者に対し、郵送等により情報提供。

対象者：各大手新聞社本支社、近県地方新聞社、テレビ局

内 容：

- ① 新特別企画展の展示概要について
- ② 常設美術展示の展示概要について
- ③ 夏季特別講座について
- ④ その他、より豊富な情報の提供につとめている。

3. 電子媒体による P R

情報公開の分野では、インターネット上にWebページを開設し、展示室紹介等の館概要を公開した。案内面では現行の企画展や休館日・特別開館日等の最新情報を提供している。

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ① インターネットウェブページ | URL：www.hikarukinenkan.or.jp/ |
| ② i モード | URL：www.hikarukinenkan.or.jp/ |
| ③ Ezウェブ | URL：www.hikarukinenkan.or.jp/ez.html |

4. 広告宣伝

- ① 博物館研究への広告
- ② 旅行情報誌への広告
- ③ 美術館情報誌への広告
- ④ 新聞県内版への広告
- ⑤ 地元タウン誌への広告
- ⑥ 地元旅館共同組合発行物への広告
- ⑦ N T T タウンページへの広告 岐阜県飛騨・高山版
- ⑧ 近隣県・都市の情報誌への広告
- ⑨ テレビ地方局への協賛

- ⑩ 地元FM局へのCM協賛
- ⑪ 週刊誌への広告
- ⑫ JR特急車内広告
- ⑬ JR高山駅前の看板広告
- ⑭ JR名古屋駅内の看板設置
- ⑮ 名古屋・名鉄バスターミナルの看板設置
- ⑯ 高山市内主幹道路沿いの看板設置
- ⑰ 高山市内電柱袖看板・巻広告
- ⑱ 高速道路のサービスエリア・道の駅のマップ広告
- ⑲ 地元路線バスのステッカー広告
- ⑳ 地元高山市花火大会協賛

5. 取材への対応

新聞・テレビ・ラジオ等マスコミ各社からの取材はもとより、観光地飛騨高山の観光・行楽に関する情報誌・雑誌等の取材に対しても、適宜対応している。

6. 地元の方々のご協力と連携を取ってのPR

各特別企画展開催にあたり、高山市民をはじめ飛騨地域岐阜県民、そして観光客の人々に対して、広く積極的かつ継続的な宣伝活動につとめている。

地元商店・市町村施設・観光施設・宿泊施設等へ各特別企画展毎に直接訪問し、展示のご案内、ポスター掲示の働きかけ、並びにチラシ等の配布につとめている。

[5] 資料貸出

美術展示室資料貸出・利用

(1) 貸出

一次資料の貸出は、次の通りである。

貸出先：上野の森美術館

貸出期間：平成13年6月16日～26日

貸出資料：手島右卿作「通」「蓮」「飛」「大吉」「真吼」

貸出目的：『光の律動 書人手島右卿の軌跡 生誕100年記念展』 出展のため

二次資料の貸出は、次の通りである。

貸出先：朝日新聞社 出版局出版企画室

貸出期間：平成12年3月14日～7月19日

貸出資料：上村松園作「四季美人図」 カラーポジフィルム 1点
 貸出目的：朝日新聞社刊 『上村松園画集 (全1巻2分冊)』掲載のため

貸出先：株式会社 求龍堂

貸出日：平成12年1月～

貸出資料：東山魁夷作 「風」 カラーポジフィルム 1点

貸出目的：株式会社 求龍堂刊『東山魁夷全作品集(カタログレゾネ)』
 掲載のため

利用形態			利用目的		
形態	件	点	目的	件	点
一次資料貸出	1	5	展示	1	5
二次資料貸出	2	2	図録等掲載	2	2
合計	3	7	合計	3	7

※ 一次資料は当館所蔵資料、二次資料はフィルム・紙焼き等

飛騨展示室資料貸出・利用

(1) 貸出

一次資料の貸出は、次の通りである。

貸出先：兒子 修司氏 (広島大学総合科学部 自然環境教室 助手)

貸出期間：平成12年1月23日～平成15年1月22日 (3年間)

貸出資料：床板サンゴ化石 19点

頭足類化石 5点 合計：24点(現在貸出中)

返却資料：床板サンゴ化石 7点(上記同定終了分として平成14年1月10日迄)

貸出目的：研究のため

* 新種5点発見

新種学名	論文名	出典
<i>Sutherlandia minatoi</i> sp. nov.	Carboniferous tabulate corals from the Fukuji area, Gifu Prefecture	Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. C, 26(3,4), pp. 121 – 128, December 22, 2000
<i>Pseudofavosites okuhidaensis</i> sp. nov.	Carboniferous tabulate corals from the Fukuji area, Gifu Prefecture	Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. C, 26(3,4), pp. 121 – 128, December 22, 2000
<i>Cladochonus verrucatus</i> sp. nov.	Sakmarian(Early Permian) tabulate corals from the Mizuyagadani Formation, Gifu Prefecture	Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. C, 27(1,2), pp. 25 – 32, June 22, 2001
<i>Syringoporella yamakoshii</i> sp. nov.	Late Silurian auloporids (Coelenterata : Tabulata) from the Hitogane Formation, Gifu Prefecture	Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. C, 27(3,4), pp. 63 – 71, December 22, 2001

<i>Romingeria cristata</i> sp. nov.	Devonian auloporidae tabulate corals from the Fukuji Formation, Gifu Prefecture	Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. C, 27(3.4), pp. 73 – 88, December 22, 2001
-------------------------------------	---	---

二次資料の貸出は、次の通りである。

貸出先 : 株式会社 ココロ

貸出資料: カガリユウ実物大模型 1点

スギヤマリュウ実物大模型 1点

貸出目的: 雑誌『ココロニュース No.58 2001. 9』掲載のため

利用形態			利用目的		
形態	件	点	目的	件	点
一次資料貸出	1	24	研究	1	24
二次資料貸出	1	2	雑誌等掲載	1	2
合計	1	26	合計	2	26

※ 一次資料は当館所蔵資料、二次資料はフィルム・紙焼き等

人類史展示室資料貸出・利用

(1) 貸出

一次資料の貸出は、次の通りである。

貸出先 : 飛騨高山国際協会・グアテマラ友好協会

貸出期間: 平成13年10月16日～17日

貸出資料: マヤの石碑拓本3点

貸出目的: 飛騨高山国際協会・グアテマラ友好協会主催

「グアテマラの夕べ」に展示のため

利用形態			利用目的		
形態	件	点	目的	件	点
一次資料貸出	1	3	展示	1	3
二次資料貸出	0	0	図録等掲載	0	0
合計	1	3	合計	1	3

※ 一次資料は当館所蔵資料、二次資料はフィルム・紙焼き等

Ⅲ、平成 14 年度事業計画

5月 4日（土） ミュージックベル演奏会

5月21日（火）～9月2日（月）

縄文の耀き展～三内丸山と飛騨～

美術常設展 夏の展示替え

6月 2日（日） 縄文文化『縄文の耀き』記念講演会

講師：岡田康博先生

（文化庁 文化財部 記念物課）

8月10日（土） 演奏会

8月11日（日） 演奏会

8月17日（土） 演奏会

8月18日（日） 演奏会

8月18日（日） エジプト文明講演会

講師：村治笙子先生

（古代オリエント学会正会員、

エジプト・アラブ文化研究会副会長）

8月25日（日） 恐竜ゼミナール

講師：濱田隆士先生

（放送大学教授、東京大学名誉教授、福井県立恐竜博物館館長）

9月10日（火） 追悼企画 今井俊満展

美術常設展 秋の展示替え

11月2日（土） 演奏会

11月4日（月） 演奏会

12月3日（火） 美術常設展 冬の展示替え

ご利用案内

開館時間 = 午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時まで）

休 館 日 = 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

年末年始（約 2 ヶ月）

展示替え期間

入 館 料 = 大 人：900 円（700 円）

高・大学生：700 円（500 円）

小・中学生：300 円（200 円）

※（ ）内は割引券および 20 名以上の団体料金

所 在 地 = 岐阜県高山市中山町 175 TEL：0577-34-6511（代）

交通手段 = JR：名古屋駅から高山本線（約 2 時間 20 分）

高山駅下車、タクシーで約 7 分

お車：東京方面から、長野自動車道松本 IC より約 2 時間

大阪方面から、東海北陸自動車道飛騨清見 IC より約 20 分

富山方面から、国道 41 号線で約 1 時間 45 分

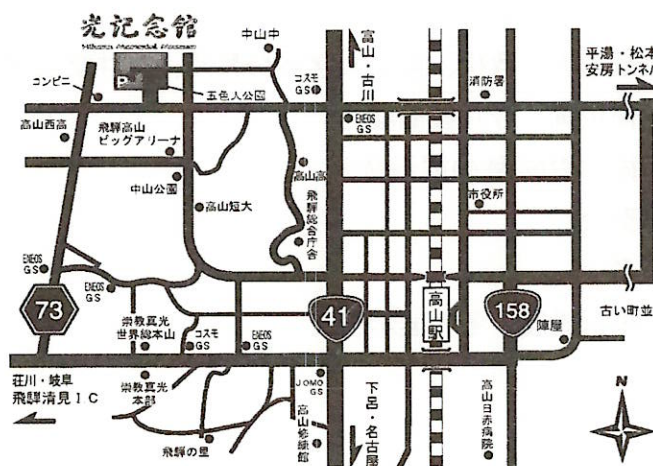
（無料大駐車場完備）

レストラン＝ 館外：ビラコチャ 108 席

TEL・0577-32-8072

館内：日玉の里（10 名以上の予約制）82 席

TEL・0577-32-8139



光記念館 年報 2 号（平成 12・13 年度）

発行者 光記念館

館長 岡崎 功

岐阜県高山市中山町 175

TEL:0577-34-6511

FAX:0577-34-6065

印刷所 光記念館

発行日 平成 14 年 3 月 31 日